

結 果 の 概 要

1 総 括

(1) 学校（園）数、園児・児童・生徒数及び教員数（本務者）〔表1〕

- 学校数を前年度と比較すると、高等学校、中等教育学校、養護学校及び専修学校がそれぞれ増加し、小学校、中学校、高等学校通信制、聾学校、幼稚園及び各種学校がそれぞれ減少、盲学校が同数である。
- 園児・児童・生徒数を前年度と比較すると、小学校、中学校、中等教育学校及び養護学校がそれぞれ増加し、高等学校、高等学校通信制、盲学校、聾学校、幼稚園、専修学校及び各種学校がそれぞれ減少した。
- 教員数を前年度と比較すると、小学校、中学校、高等学校通信制、中等教育学校、盲学校、養護学校及び幼稚園がそれぞれ増加し、高等学校、聾学校、専修学校及び各種学校がそれぞれ減少した。

表1 学校（園）数、園児・児童・生徒数及び教員数（本務者）

（単位：校、園、人、％）

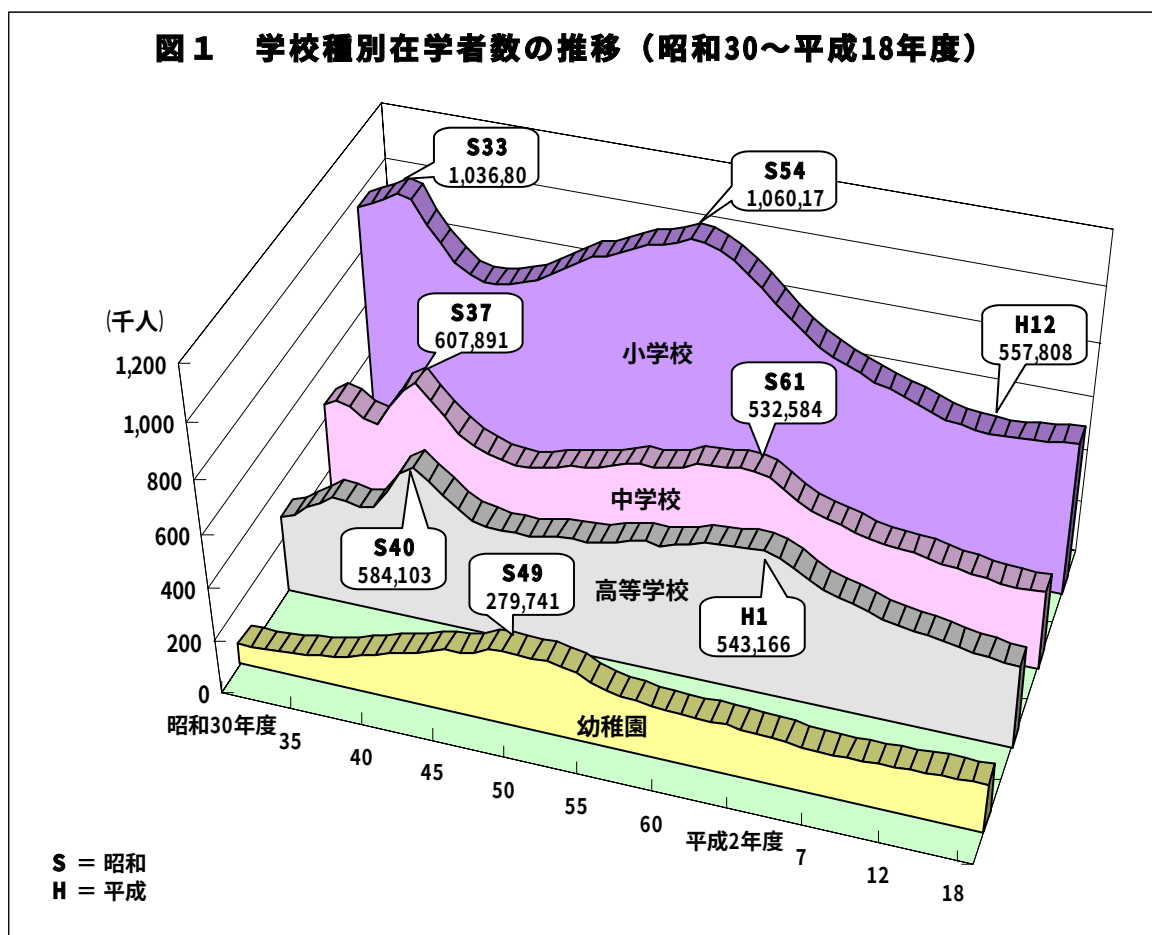
区 分	学 校（園）数				園 児 ・ 児 童 ・ 生 徒 数				教 員 数（本 務 者）			
	平 成 18 年 度	平 成 17 年 度	対 前 年 度 増 減 数	対 前 年 度 増 減 率	平 成 18 年 度	平 成 17 年 度	対 前 年 度 増 減 数	対 前 年 度 増 減 率	平 成 18 年 度	平 成 17 年 度	対 前 年 度 増 減 数	対 前 年 度 増 減 率
総 数	4 481	4 489	△ 8	△ 0.2	1 612 528	1 624 911	△ 12 383	△ 0.8	93 330	93 009	321	0.3
小 学 校	1 387	1 389	△ 2	△ 0.1	586 492	580 036	6 456	1.1	30 323	29 902	421	1.4
中 学 校	828	832	△ 4	△ 0.5	298 062	295 843	2 219	0.8	18 252	18 182	70	0.4
高等学校	451	448	3	0.7	311 592	318 279	△ 6 687	△ 2.1	18 889	19 164	△ 275	△ 1.4
高等学校通信制	12	13	△ 1	△ 7.7	22 219	24 468	△ 2 249	△ 9.2	341	334	7	2.1
中等教育学校	4	1	3	300.0	1 479	698	781	111.9	90	43	47	109.3
盲 学 校	5	5	—	—	446	460	△ 14	△ 3.0	279	273	6	2.2
聾 学 校	7	9	△ 2	△ 22.2	654	663	△ 9	△ 1.4	333	380	△ 47	△ 12.4
養護学校	55	54	1	1.9	8 237	8 010	227	2.8	4 413	4 296	117	2.7
幼 稚 園	1 095	1 100	△ 5	△ 0.5	178 850	179 392	△ 542	△ 0.3	10 687 (420)	10 640 (396)	47 (24)	0.4 (6.1)
専修学校	461	459	2	0.4	174 699	187 162	△ 12 463	△ 6.7	8 255	8 267	△ 12	△ 0.1
各種学校	176	179	△ 3	△ 1.7	29 798	29 900	△ 102	△ 0.3	1 468	1 528	△ 60	△ 3.9

注 1) 高等学校で全日制又は定時制課程と通信制課程を併置している9校は、「高等学校」と「高等学校通信制」の両方に計上してある。
2) 高等学校及び中等教育学校の生徒数は、本科のみであり、専攻科及び別科は含まない。
3) () 内数値は、教育補助員で外数である。
4) 高等専門学校、短期大学及び大学については、文部科学省が直接調査しているため、除外してある。

(2) 園児・児童・生徒数の推移〔図1〕

- 昭和 30 年度からの推移をみると、小学校児童数は、昭和 54 年度のピークから平成 12 年度まで減少が続いたが、平成 13 年度から 6 年続けて増加した。
- 中学校生徒数は、昭和 37 年度のピークから昭和 45 年度まで減少し、その後昭和 61 年度まで増加傾向がみられた後、昭和 62 年度から平成 16 年度まで再び減少したが、前年度から 2 年続けて増加した。
- 高等学校生徒数は、昭和 40 年度のピークから昭和 47 年度まで減少し、その後平成元年度まで増加傾向がみられたが、平成 2 年度から今年度まで再び減少した。
- 幼稚園児数は、昭和 49 年度をピークに減少傾向にあったが、その後平成 10 年度から 8 年続けて増加した後、今年度は減少した。

図1 学校種別在学者数の推移（昭和30～平成18年度）



(3) 長期欠席者数 [表2]

【小学校】

○長期欠席者数(前年度間に30日以上欠席した人数)を5年前の平成12年度間からの推移でみると、平成13年度間から減少が続いている。

○平成17年度間の理由別内訳の構成比をみると、不登校が42.7%、病気が32.4%となった。

【中学校】

○長期欠席者数を5年前の平成12年度間からの推移でみると、平成13年度間から減少が続いている。

○平成17年度間の理由別内訳の構成比をみると、不登校が83.2%、病気が10.9%となった。

表2 長期欠席者数（小・中学校）

(単位：人、%)

区分	平成7年度間	構成比	12	13	14	15	16	17	構成比
小学校	5 531	100.0	5 688	5 456	4 803	4 586	4 287	4 225	100.0
病気	2 792	50.5	2 388	2 257	1 805	1 714	1 383	1 371	32.4
経済的理由	9	0.2	9	7	4	1	2	7	0.2
不登校	1 797	32.5	2 364	2 236	2 038	1 889	1 832	1 802	42.7
その他	933	16.9	927	956	956	982	1 070	1 045	24.7
中学校	8 423	100.0	9 857	9 725	9 447	9 131	8 946	8 933	100.0
病気	1 585	18.8	983	948	924	868	941	974	10.9
経済的理由	42	0.5	21	41	25	13	17	12	0.1
不登校	5 714	67.8	8 378	8 302	7 917	7 661	7 489	7 429	83.2
その他	1 082	12.8	475	434	581	589	499	518	5.8

(4) 卒業後の状況 [図 2-1、図 2-2、図 2-3、統計表 9-1、統計表 10-1]

【中学校】

- 中学校の卒業生総数は、今年も減少し、10年前の平成8年から連続して減少している。
- 高等学校等への進学率は97.7%で、平成8年から97%前後で推移している。男女別にみると、女が男を10年間で上回っているが、差はほとんど無くなった。
- 中学校卒業生の就職率は、平成15年から4年連続で0.6%となった。

【高等学校】

- 高等学校の卒業生総数は、今年も減少し、10年前の平成8年から連続して減少している。
- 大学等進学率は、平成8年から上昇傾向で、今年は59.0%と調査開始以来最高となった。男女別にみると、男が55.8%、女が62.1%で、女が6.3ポイント上回った。
- 専修学校専門課程への進学率は、平成8年から15%前後で推移している。
- 高等学校卒業生の就職率は、平成16年から2年続けて上昇したが、今年は7.0%で前年と同率となった。

図 2-1 中学校の卒業生数及び進学率の推移

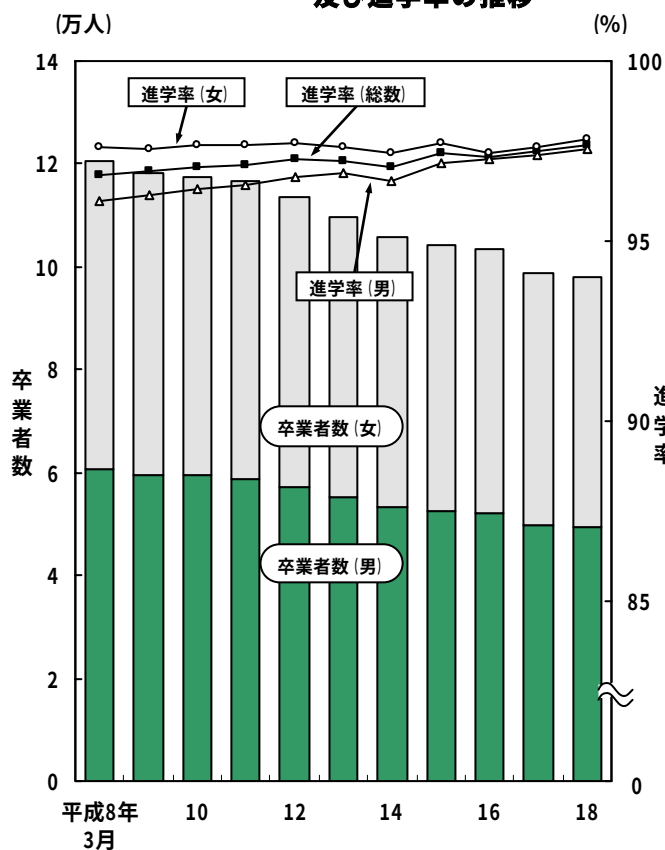


図 2-2 高等学校の卒業生数及び進学率の推移

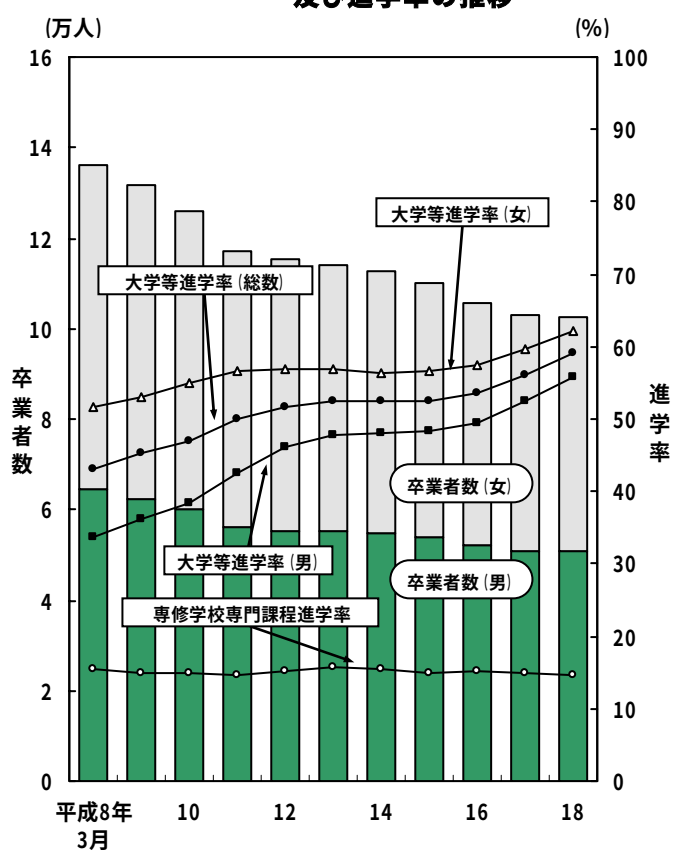
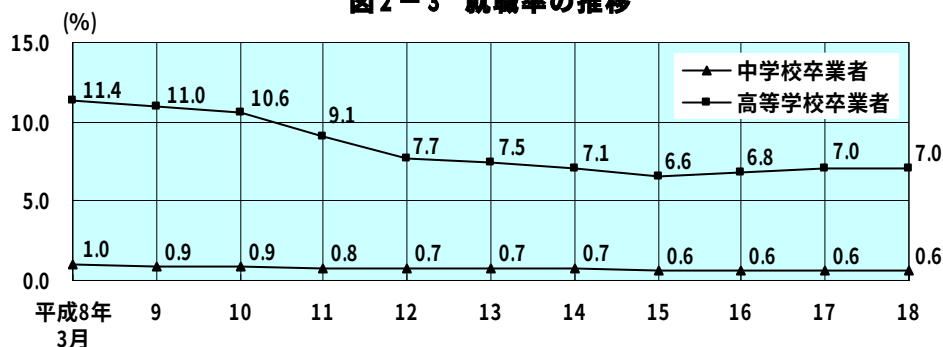


図 2-3 就職率の推移



結果の概要の1総括(2)「園児・児童・生徒数の推移」にあるように、東京都では、平成13年度から6年連続で小学校児童数が増加しています。ここでは、この増加について、少し詳しくみてみましょう。

1 対前年度児童増減数の推移(表A、図A)

○前年度からの児童増減数は、入学生による増加及び前年度の卒業生による減少と、それ以外の増減(転入・転出等)に分けることができます。平成9年度からの推移をみると、入学生に当たる1学年児童数は、平成12年度から増加傾向となる一方で、卒業生に当たる6学年児童数は、平成14年度まで減少が続いたため、平成14年度以降は1学年児童数が前年度6学年児童数を上回っています。

○それ以外の増減(転入・転出等)は、平成12年度から増加となり、小学校児童の都外からの転入が転出等を上回っていると考えられます。

2 6歳人口と6年前の0歳人口との比較(表B)

○入学生に当たる1月1日現在6歳の人口について、6年前の0歳人口と比較してみると、平成9年から平成13年まで減少していますが、平成14年以降は増加となり、小学校入学前世代の東京都外からの転入が増加していると考えられます。

表A 小学校児童数及び対前年度児童増減数の推移

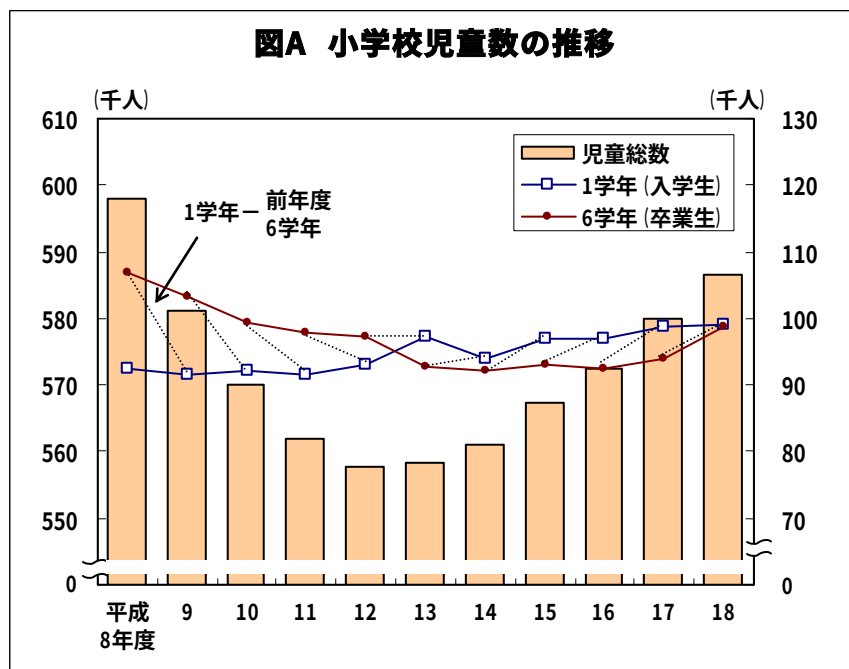
(単位:人)						
年 度	児 童 数	1学年 (入学生)	6学年 (卒業生)	対前年度 児童増減数	1学年- 前年度 6学年	それ以外の増減 (転入・転出等)
平成8年度	598 020	92 556	106 923			
9	581 308	91 554	103 205	△ 16 712	△ 15 369	△ 1 343
10	569 947	92 136	99 441	△ 11 361	△ 11 069	△ 292
11	561 792	91 402	97 867	△ 8 155	△ 8 039	△ 116
12	557 808	93 053	97 375	△ 3 984	△ 4 814	830
13	558 286	97 296	92 616	478	△ 79	557
14	560 912	93 848	92 017	2 626	1 232	1 394
15	567 216	96 889	92 972	6 304	4 872	1 432
16	572 575	96 959	92 545	5 359	3 987	1 372
17	580 036	98 756	93 991	7 461	6 211	1 250
18	586 492	98 938	98 808	6 456	4 947	1 509

表B 6歳人口と6年前の0歳人口との比較

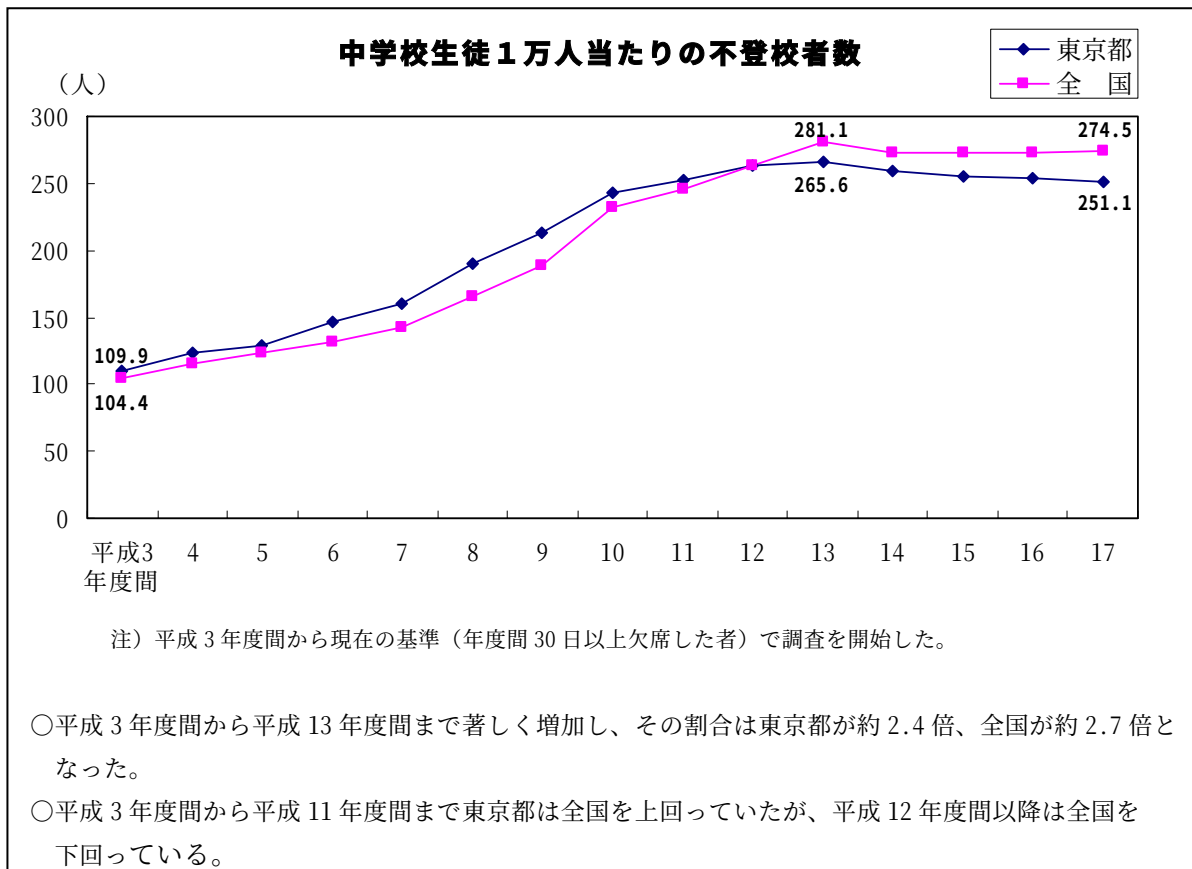
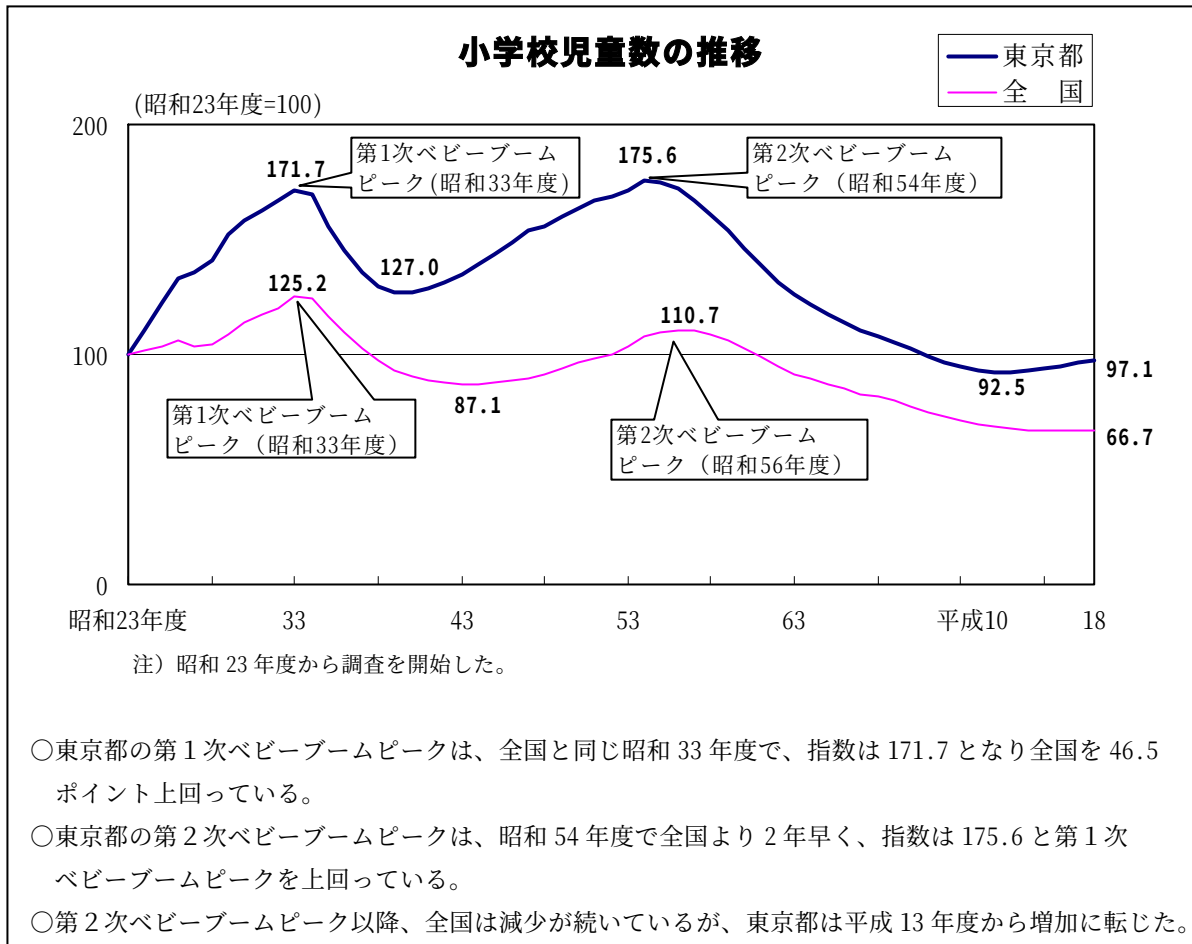
(単位:人)				
年 度	1月1日 6歳人口	年 度	1月1日 0歳人口	増 減 数
平成9年	91 547	平成3年	98 042	△ 6 495
10	91 957	4	97 560	△ 5 603
11	91 350	5	95 267	△ 3 917
12	91 029	6	92 955	△ 1 926
13	97 116	7	97 161	△ 45
14	93 767	8	92 910	857
15	96 355	9	93 787	2 568
16	96 624	10	93 904	2 720
17	98 457	11	95 026	3 431
18	98 028	12	94 243	3 785

資料:「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
(東京都総務局統計部人口統計課)

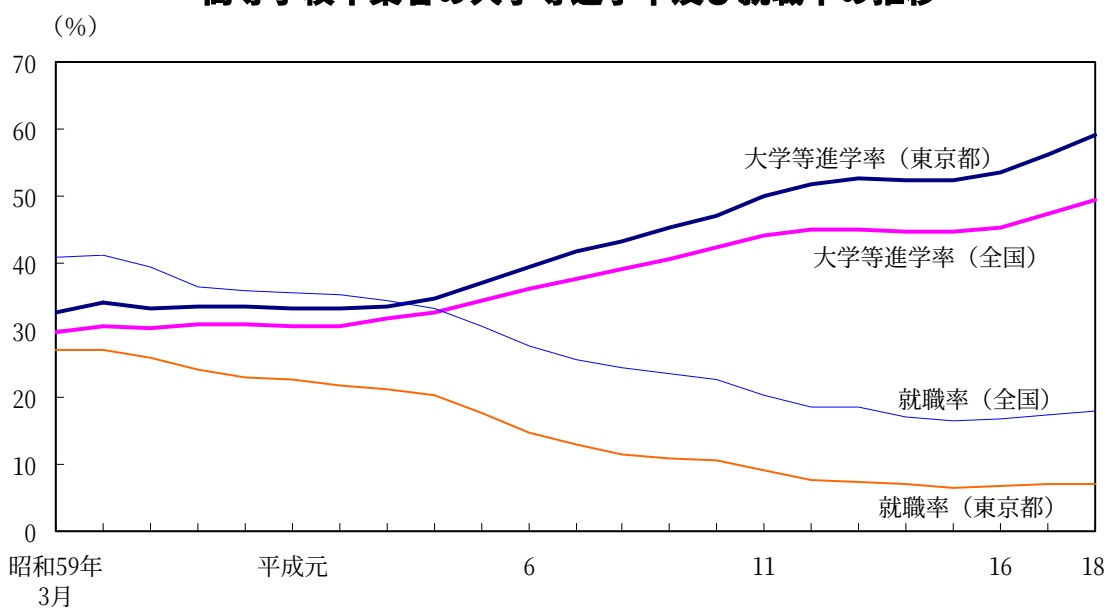
図A 小学校児童数の推移



東京都と全国との比較



高等学校卒業者の大学等進学率及び就職率の推移



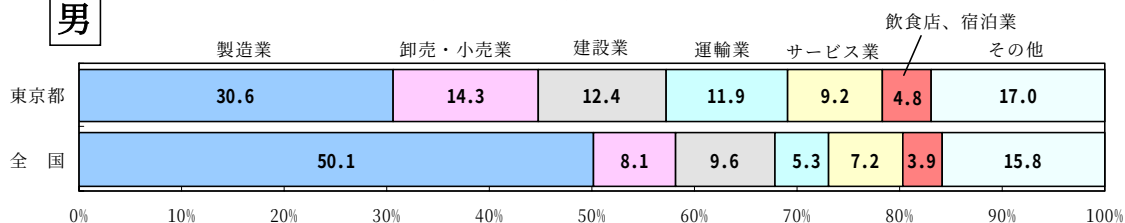
注)「大学等進学者」は、昭和59年度から現在と同じ調査項目で調査を開始した。

○東京都の大学等進学率は、全国を上回っており、平成9年以降差が徐々に開いている。

○東京都の就職率は、全国を下回っており、常に差が10ポイント以上開いている。

就職者の産業別構成比 (平成18年3月高等学校卒業者)

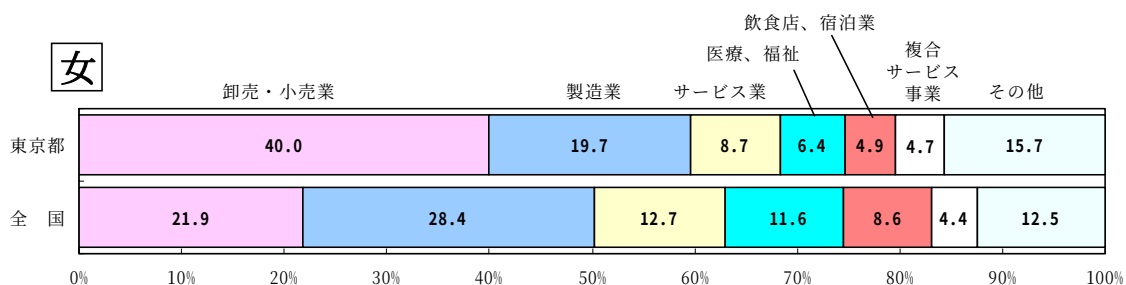
男



○東京都は「製造業」が30.6%で最も多いが、全国より19.5ポイント下回っている。

○東京都は「卸売・小売業」が6.2ポイント、「建設業」が2.8ポイント、「運輸業」が6.6ポイント全国をそれぞれ上回っている。

女



○東京都は「卸売・小売業」が40.0%と最も多く、全国より18.1ポイント上回っている。

○東京都は「製造業」が8.7ポイント、「サービス業」が4.0ポイント、「医療、福祉」が5.2ポイント全国をそれぞれ下回っている。

※ 全国値は、文部科学省「学校基本調査報告書 (平成18年度は速報値)」による。

2 小学校

(1) 学校数 [表 3、付表 I -1]

- 学校数は、1,387 校で前年度より 2 校減少した。学校数の減少傾向は、平成 2 年度から 17 年続いている。
- 地域別にみると、区部が 898 校で前年度より 1 校、市部が 457 校で 1 校それぞれ減少した。郡部が 11 校、島部が 21 校で前年度と同数である。
- 設置者別では、公立が 1,329 校で前年度より 2 校減少した。国立が 6 校、私立が 52 校で前年度と同数である。

表 3 地域・設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成 8 年度	構 成 比	13	14	15	16	17	18	構 成 比
総 数	1 460	100.0	1 429	1 411	1 404	1 399	1 389	1 387	100.0
(地 域 別)									
区 部	954	65.3	927	914	908	907	899	898	64.7
市 部	469	32.1	466	461	460	457	458	457	32.9
郡 部	13	0.9	12	12	12	11	11	11	0.8
島 部	24	1.6	24	24	24	24	21	21	1.5
(設 置 者 別)									
国 立	6	0.4	6	6	6	6	6	6	0.4
公 立	1 404	96.2	1 373 (1)	1 354 (3)	1 347 (3)	1 342 (4)	1 331	1 329	95.8
私 立	50	3.4	50	51	51	51	52	52	3.7

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 学級数 [表 4、統計表 2-2]

- 学級数は、19,236 学級（単式学級 18,551 学級、複式学級 19 学級、75 条学級 666 学級）で前年度より 162 学級増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 572 学級減少した。
- 設置者別にみると、公立が 18,373 学級で前年度より 148 学級、私立が 743 学級で 15 学級それぞれ増加し、国立が 120 学級で 1 学級減少した。
- 収容人員別では、1 学級 31 人～35 人の学級が 6,566 学級と最も多く、次いで 26 人～30 人の学級が 4,910 学級、36 人～40 人の学級が 4,415 学級の順となった。

表 4 設置者・収容人員別学級数

(単位：学級)

区 分	平成 8 年 度	13	14	15	16	17	18	12人 以下	13 ～20	21 ～25	26 ～30	31 ～35	36 ～40	41 ～45	46人 以上
総 数	19 808	18 614	18 623	18 783	18 911	19 074	19 236	829	375	1 979	4 910	6 566	4 415	155	7
国 立	120	120	120	122	122	121	120	4	—	—	—	8	107	1	—
公 立	18 997	17 795	17 783	17 940	18 068	18 225	18 373	802	373	1 956	4 836	6 471	3 908	27	—
私 立	691	699	720	721	721	728	743	23	2	23	74	87	400	127	7

(3) 児童数 [表 5、表 6、表 7]

- 児童数は、586,492 人で前年度より 6,456 人増加し、平成 13 年度から 6 年続けて増加した。
- 地域別にみると、区部が 367,161 人で前年度より 4,543 人、市部が 214,787 人で 2,026 人それぞれ増加し、郡部が 3,207 人で 39 人、島部が 1,337 人で 74 人それぞれ減少した。
- 設置者別では、公立が 555,245 人で 6,301 人、私立が 26,716 人で 159 人それぞれ増加し、国立が 4,531 人で 4 人減少した。

表 5 男女・地域・設置者別児童数

(単位：人、%)

区 分	平成 8 年度	構成比	13	14	15	16	17	18	構成比
総 数	598 020	100.0	558 286	560 912	567 216	572 575	580 036	586 492	100.0
(男 女 別)									
男	305 277	51.0	285 019	286 251	289 774	292 491	296 353	299 629	51.1
女	292 743	49.0	273 267	274 661	277 442	280 084	283 683	286 863	48.9
(地 域 別)									
区 部	379 651	63.5	350 828	351 744	355 472	358 346	362 618	367 161	62.6
市 部	212 402	35.5	202 597	204 365	206 999	209 590	212 761	214 787	36.6
郡 部	3 881	0.6	3 297	3 296	3 314	3 256	3 246	3 207	0.5
島 部	2 086	0.3	1 564	1 507	1 431	1 383	1 411	1 337	0.2
(設 置 者 別)									
国 立	4 496	0.8	4 530	4 539	4 550	4 549	4 535	4 531	0.8
公 立	567 283	94.9	527 616	530 109	536 254	541 614	548 944	555 245	94.7
私 立	26 241	4.4	26 140	26 264	26 412	26 412	26 557	26 716	4.6

- 1 学級当たりの児童数は、30.5 人で前年度より 0.1 人増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 0.3 人増加した。
- 教員 1 人当たりの児童数は、19.3 人で前年度より 0.1 人減少した。平成 8 年度と比較すると 0.8 人減少した。

表 6 1 学 級 ・ 1 教 員 (本 務 者) 当 た り の 児 童 数

(単位：人)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
学 級 数	19 808	18 614	18 623	18 783	18 911	19 074	19 236
児 童 数	598 020	558 286	560 912	567 216	572 575	580 036	586 492
教員数 (本務者)	29 773	28 738	28 964	29 373	29 737	29 902	30 323
1 学 級 当 た り 児 童 数	30.2	30.0	30.1	30.2	30.3	30.4	30.5
教 員 1 人 当 た り 児 童 数	20.1	19.4	19.4	19.3	19.3	19.4	19.3

○75条学級の児童数は、4,117人で前年度より284人増加した。10年前の平成8年度と比較すると1,350人増加した。

表 7 公立・私立別 75条学級のある学校数、学級数及び児童数

(単位：校、学級、人)

年 度	学 校 数	公 立	私 立	学 級 数	公 立	私 立	児 童 数	公 立	私 立
平成 8 年度	354	353	1	705	691	14	2 767	2 622	145
13	272	271	1	525	508	17	3 085	2 915	170
14	272	271	1	545	527	18	3 269	3 093	176
15	275	274	1	574	556	18	3 454	3 280	174
16	281	280	1	607	589	18	3 699	3 521	178
17	288	287	1	618	600	18	3 833	3 656	177
18	292	291	1	666	648	18	4 117	3 942	175

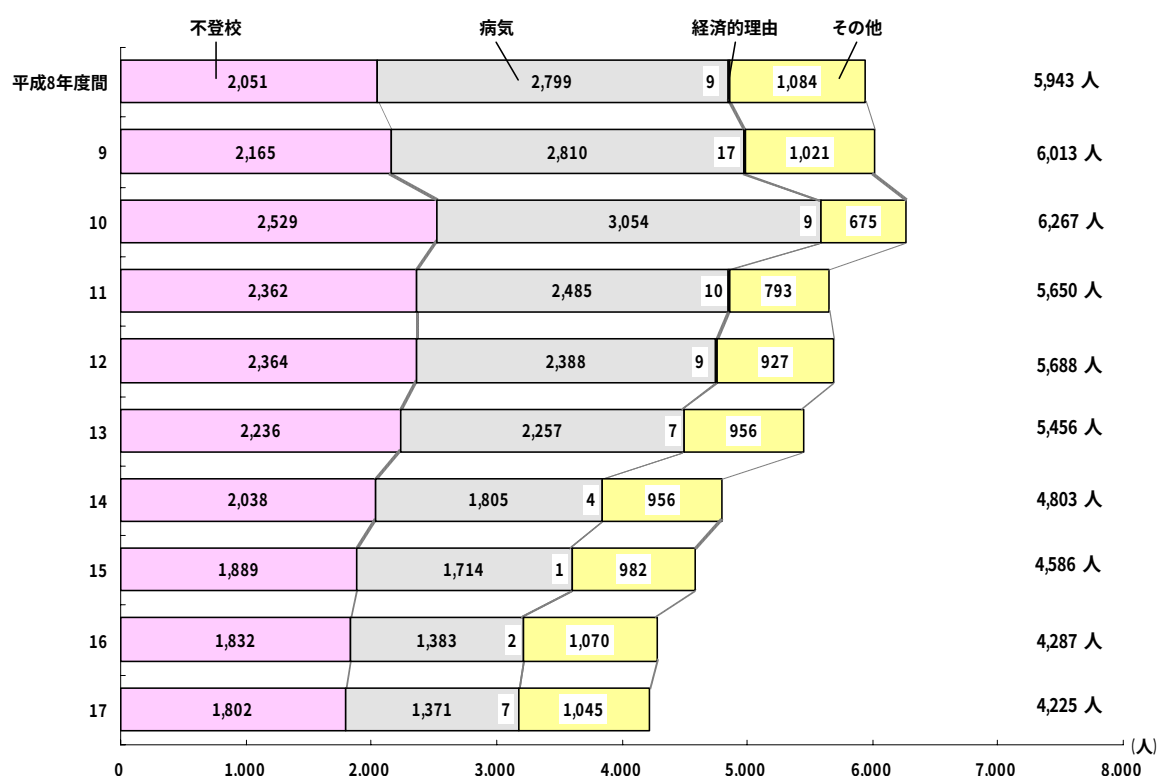
(4) 長期欠席者数 [図3、統計表2-4-2]

○平成17年度間に30日以上欠席した児童は、4,225人で前年度間より62人減少した。下図3をみると、最多となった平成10年度間の6,267人より2,042人減少している。

○理由別内訳では、病気が1,371人で前年度間より12人、不登校が1,802人で30人、その他が1,045人で25人それぞれ減少したが、経済的理由は7人で5人増加した。

○児童総数(580,036人)からみると、長期欠席者は137.3人に1人となり、理由別内訳では病気が423.1人に1人、不登校が321.9人に1人の割合となった。

図3 理由別長期欠席者数(年度間30日以上)



(5) 教員数(本務者) [表 8]

- 教員数は、30,323 人で前年度より 421 人増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 550 人増加した。
- 男女別では、男が 10,751 人で前年度より 212 人、女が 19,572 人で 209 人それぞれ増加した。平成 8 年度と比較すると男が 389 人、女が 161 人それぞれ増加した。
- 教員数に占める女性教員の割合は、64.5%で前年度より 0.3 ポイント低下した。平成 8 年度と比較すると 0.7 ポイントの低下となった。
- 設置者別では、公立が 28,874 人で前年度より 389 人、私立が 1,287 人で 34 人それぞれ増加し、国立が 162 人で 2 人減少した。

表 8 男女・設置者別教員数(本務者)

(単位：人、%)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	29 773	28 738	28 964	29 373	29 737	29 902	30 323
(男 女 別)							
男	10 362	10 020	10 116	10 276	10 402	10 539	10 751
女	19 411	18 718	18 848	19 097	19 335	19 363	19 572
(設 置 者 別)							
国 立	166	167	166	166	165	164	162
公 立	28 399	27 352	27 554	27 959	28 317	28 485	28 874
私 立	1 208	1 219	1 244	1 248	1 255	1 253	1 287
女性教員数の割合	65.2	65.1	65.1	65.0	65.0	64.8	64.5

3 中学校

(1) 学校数 [表 9]

- 学校数は、828 校で前年度より 4 校減少した。3 年連続の減少となり、10 年前の平成 8 年度と比較すると 26 校減少した。
- 地域別にみると、区部が 545 校で前年度より 5 校減少し、市部が 259 校で 1 校増加した。郡部が 7 校、島部が 17 校で前年度と同数である。平成 8 年度と比較すると区部が 32 校の減少、市部が 8 校の増加となっている。
- 設置者別では、公立が 640 校で前年度より 5 校減少し、私立が 181 校で 1 校増加、国立が 7 校で前年度と同数である。

表 9 地域・設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成 8 年度	構 成 比	13	14	15	16	17	18	構 成 比
総 数 (地 域 別)	854	100.0	843	839	839	837	832	828	100.0
区 部	577	67.6	562	558	557	555	550	545	65.8
市 部	251	29.4	255	256	257	258	258	259	31.3
郡 部	8	0.9	8	8	8	7	7	7	0.8
島 部	18	2.1	18	17	17	17	17	17	2.1
(設 置 者 別)									
国 立	8	0.9	7	7	7	7	7	7	0.8
公 立	667	78.1	657	653	653	651	645	640	77.3
私 立	179	21.0	179	179	179	179	180	181	21.9
	(2)		(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	(3)	

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 学級数 [表 10、統計表 3-2、付表 I -2]

- 学級数は、8,898 学級（単式学級 8,539 学級、複式学級 13 学級、75 条学級 346 学級）で前年度より 48 学級増加した。学級数の増加は昭和 60 年度以来 21 年ぶりである。
- 設置者別でみると、公立が 6,704 学級で前年度より 6 学級、私立が 2,110 学級で 42 学級それぞれ増加した。国立が 84 学級で前年度と同数である。
- 収容人員別では、1 学級 36 人～40 人の学級が 3,223 学級で最も多く、次いで 31 人～35 人の学級が 3,021 学級で、26 人～30 人の学級が 914 学級の順となった。

表 10 設置者・収容人員別学級数

(単位：学級)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18	12人 以下	13 ～20	21 ～25	26 ～30	31 ～35	36 ～40	41 ～45	46人 以上
総 数	10 044	9 204	9 079	8 916	8 850	8 850	8 898	471	140	238	914	3 021	3 223	671	220
国 立	93	84	84	84	84	84	84	2	2	—	—	8	37	35	—
公 立	7 963	7 087	6 953	6 801	6 717	6 698	6 704	392	44	171	778	2 794	2 520	5	—
私 立	1 988	2 033	2 042	2 031	2 049	2 068	2 110	77	94	67	136	219	666	631	220

(3) 生徒数 [表 11、表 12、表 13、付表 I -2]

- 生徒数は、298,062 人で前年度より 2,219 人増加し、2 年連続の増加となった。
- 地域別にみると、区部が 193,286 人で前年度より 1,300 人、市部が 102,503 人で 954 人それぞれ増加した。一方、郡部が 1,524 人で 29 人、島部が 749 人で 6 人それぞれ減少した。
- 設置者別では、国立が 3,246 人で前年度より 1 人、公立が 217,332 人で 668 人、私立が 77,484 人で 1,550 人それぞれ増加した。
- 中学生総数に占める私立学校生徒数の割合は、前年度より 0.3 ポイント上昇して 26.0%となった。

表 11 男女・地域・設置者別生徒数

(単位：人、%)									
区 分	平成 8 年度	構成比	13	14	15	16	17	18	構成比
総 数	351 996	100.0	312 565	305 622	299 439	295 387	295 843	298 062	100.0
(男 女 別)									
男	177 211	50.3	157 365	153 799	150 463	148 584	148 916	150 187	50.4
女	174 785	49.7	155 200	151 823	148 976	146 803	146 927	147 875	49.6
(地 域 別)									
区 部	231 950	65.9	203 442	198 750	194 496	191 549	191 986	193 286	64.8
市 部	116 537	33.1	106 381	104 306	102 510	101 488	101 549	102 503	34.4
郡 部	2 334	0.7	1 827	1 768	1 661	1 614	1 553	1 524	0.5
島 部	1 175	0.3	915	798	772	736	755	749	0.3
(設置者別)									
国 立	3 593	1.0	3 261	3 250	3 253	3 249	3 245	3 246	1.1
公 立	267 242	75.9	233 593	227 713	221 854	217 509	216 664	217 332	72.9
私 立	81 161	23.1	75 711	74 659	74 332	74 629	75 934	77 484	26.0

- 1 学級当たりの生徒数は、33.5 人で、前年度より 0.1 人増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 1.5 人減少した。
- 教員 1 人当たりの生徒数は、16.3 人で、前年度と同数である。平成 8 年度と比較すると 1.8 人の減少である。

表 12 1 学級・1 教員 (本務者) 当たりの生徒数

(単位：人)							
区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
学 級 数	10 044	9 204	9 079	8 916	8 850	8 850	8 898
生 徒 数	351 996	312 565	305 622	299 439	295 387	295 843	298 062
教員数 (本務者)	19 449	18 327	18 265	18 223	18 074	18 182	18 252
1 学 級 当 た り 生 徒 数	35.0	34.0	33.7	33.6	33.4	33.4	33.5
教 員 1 人 当 た り 生 徒 数	18.1	17.1	16.7	16.4	16.3	16.3	16.3

○75条学級の生徒数は、2,229人で前年度より192人増加した。10年前の平成8年度と比較すると839人増加した。

表 13 公立・私立別 75条学級のある学校数、学級数及び生徒数

(単位：校、学級、人)

年 度	学 校 数	公 立	私 立	学 級 数	公 立	私 立	生 徒 数	公 立	私 立
平成 8 年度	175	174	1	289	280	9	1 390	1 312	78
13	144	143	1	273	264	9	1 645	1 541	104
14	144	143	1	286	277	9	1 758	1 652	106
15	146	145	1	283	274	9	1 799	1 693	106
16	148	147	1	303	294	9	1 864	1 757	107
17	151	150	1	321	312	9	2 037	1 931	106
18	154	153	1	346	337	9	2 229	2 124	105

(4) 長期欠席者数 [図4、統計表3-4-2]

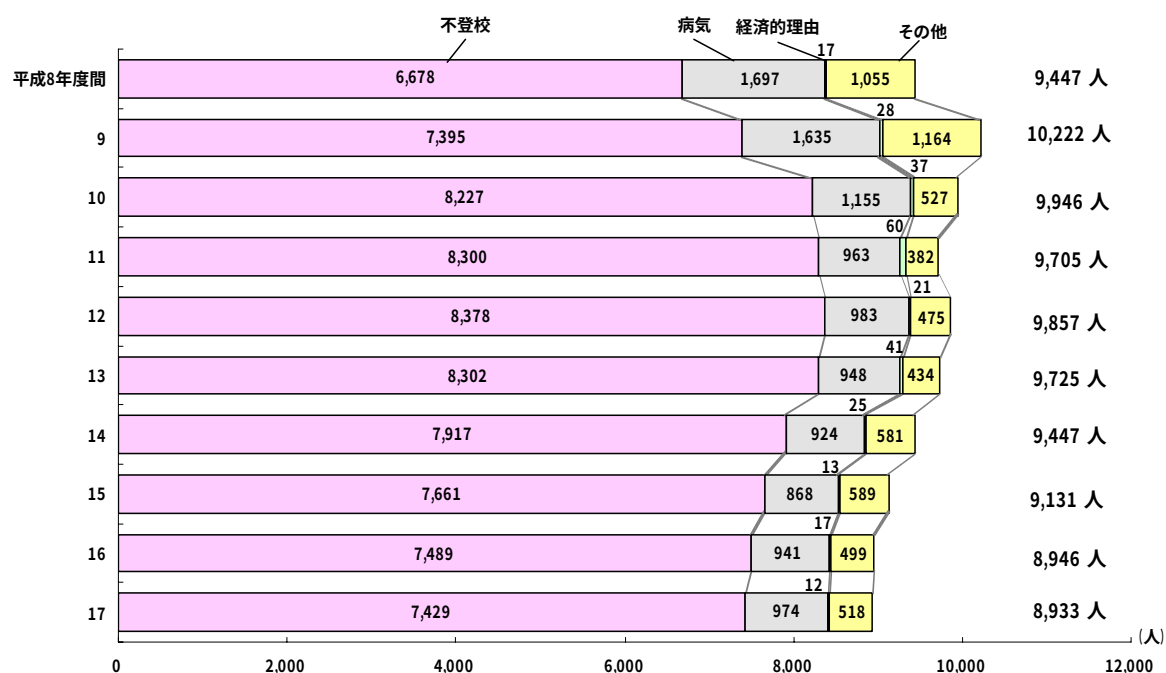
○平成17年度間に30日以上欠席した生徒は、8,933人で前年度間より13人減少した。下図4をみると、1万人を超えた平成9年度間より1,289人減少しており、5年連続の減少となった。

○理由別内訳は、不登校が7,429人で前年度間より60人、経済的理由が12人で5人それぞれ減少し、病気が974人で33人、その他が518人で19人それぞれ増加した。

○不登校を構成比でみると、前年度間より0.5ポイント低下し83.2%となった。

○生徒総数(295,843人)からみると、長期欠席者が33.1人に1人となり、理由別内訳では不登校が39.8人に1人、病気が303.7人に1人の割合となった。

図 4 理由別長期欠席者数(年度間30日以上)



(5) 教員数(本務者) [表 14]

- 教員数は、18,252 人で前年度より 70 人増加したが、10 年前の平成 8 年度と比較すると 1,197 人減少した。
- 男女別では、男が 10,691 人で前年度より 32 人、女が 7,561 人で 38 人それぞれ増加した。平成 8 年度と比較すると男が 768 人、女が 429 人それぞれ減少した。
- 教員数に占める女性教員の割合は、41.4%で前年度と同率である。
- 設置者別では、国立が 168 人で前年度より 5 人、公立が 14,189 人で 5 人、私立が 3,895 人で 60 人それぞれ増加した。

表 14 男 女 ・ 設 置 者 別 教 員 数 (本 務 者)

(単位：人、%)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	19 449	18 327	18 265	18 223	18 074	18 182	18 252
(男 女 別)							
男	11 459	10 678	10 646	10 623	10 578	10 659	10 691
女	7 990	7 649	7 619	7 600	7 496	7 523	7 561
(設 置 者 別)							
国 立	188	168	167	164	163	163	168
公 立	15 496	14 415	14 407	14 311	14 174	14 184	14 189
私 立	3 765	3 744	3 691	3 748	3 737	3 835	3 895
女性教員数の割合	41.1	41.7	41.7	41.7	41.5	41.4	41.4

4 高等学校

〔全日制課程・定時制課程〕

（１）学校数 [表 15、統計表 4-1]

- 学校数は、451 校で前年度より 3 校増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 11 校減少した。
- 地域別にみると、区部が 326 校で前年度より 2 校、島部が 8 校で 1 校それぞれ増加した。市部が 116 校、郡部が 1 校で前年度と同数である。
- 設置者別では、公立が 207 校で前年度より 3 校増加し、国立が 6 校、私立が 238 校で前年度と同数である。
- 課程別では、全日制課程のみの設置校が 334 校で前年度より 4 校、定時制課程のみの設置校が 18 校で 6 校それぞれ増加し、全日制課程と定時制課程の両方を設置する併置校が 99 校で前年度より 7 校減少した。

表 15 地域・設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成8年度	構成比	13	14	15	16	17	18	構成比
総 数	462	100.0	457	456	452	445	448	451	100.0
(地 域 別)									
区 部	335	72.5	331	330	326	322	324	326	72.3
市 部	118	25.5	118	118	118	115	116	116	25.7
郡 部	2	0.4	1	1	1	1	1	1	0.2
島 部	7	1.5	7	7	7	7	7	8	1.8
(設 置 者 別)									
国 立	7	1.5	6	6	6	6	6	6	1.3
公 立	217	47.0	213	212	208	201	204	207	45.9
私 立	238	51.5	238	238	238	238	238	238	52.8
	(2)		(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

（２）生徒数 (本科) [表 16、表 17、表 18、表 19、図 5、統計表 4-6]

- 生徒数は、311,592 人で前年度より 6,687 人減少し、平成 2 年度から 17 年続けて減少している。
- 地域別にみると、区部が 221,333 人で前年度より 3,783 人、市部が 88,867 人で 2,935 人、郡部が 600 人で 17 人それぞれ減少し、島部が 792 人で 48 人増加した。
- 設置者別では、国立が 3,475 人で前年度より 12 人、公立が 132,769 人で 3,300 人、私立が 175,348 人で 3,375 人それぞれ減少した。
- 課程別では、全日制が 297,149 人で前年度より 6,839 人減少し、定時制が 14,443 人で 152 人増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると定時制の割合が 0.7 ポイント上昇した。

表 16 男女・地域・設置者・課程別生徒数 (本科)

(単位：人、%)

区 分	平成8年度	構成比	13	14	15	16	17	18	構成比
総 数	398 466	100.0	349 813	338 051	329 659	325 178	318 279	311 592	100.0
(男 女 別)									
男	192 265	48.3	172 009	166 691	163 052	161 049	157 722	154 859	49.7
女	206 201	51.7	177 804	171 360	166 607	164 129	160 557	156 733	50.3
(地 域 別)									
区 部	287 367	72.1	247 972	238 661	231 843	229 209	225 116	221 333	71.0
市 部	109 482	27.5	100 262	97 871	96 388	94 550	91 802	88 867	28.5
郡 部	626	0.2	633	624	606	616	617	600	0.2
島 部	991	0.2	946	895	822	803	744	792	0.3
(設 置 者 別)									
国 立	3 947	1.0	3 437	3 453	3 463	3 473	3 487	3 475	1.1
公 立	166 615	41.8	151 578	146 264	142 045	139 699	136 069	132 769	42.6
私 立	227 904	57.2	194 798	188 334	184 151	182 006	178 723	175 348	56.3
(課 程 別)									
全 日 制	383 058	96.1	335 214	323 540	315 959	311 205	303 988	297 149	95.4
定 時 制	15 408	3.9	14 599	14 511	13 700	13 973	14 291	14 443	4.6

○学科別では、普通科が269,489人で最も多く、次いで工業科17,027人、商業科が11,085人の順となった。

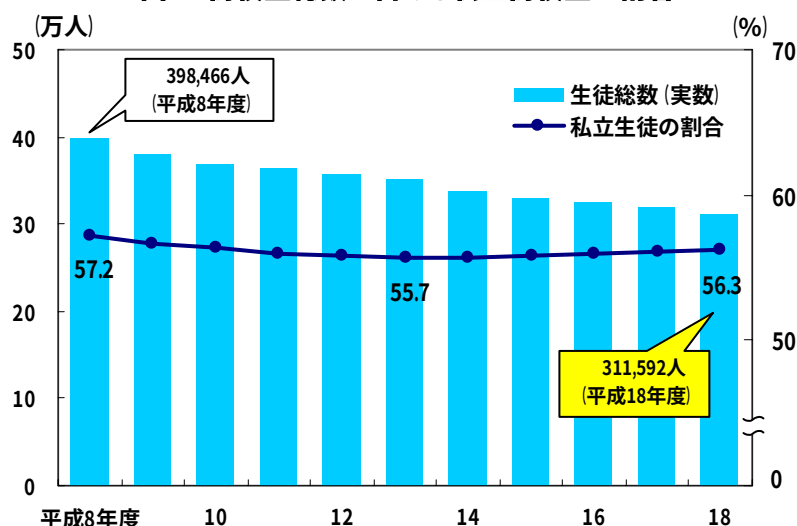
○私立学校生徒数の割合は、生徒総数の56.3%となり、10年前の平成8年度と比較すると0.9ポイント低下した。

表 17 学科別生徒数

(単位：人、%)

学 科	実 数	構 成 比
総 数	311 592	100.0
普 通	269 489	86.5
農 業	2 398	0.8
工 業	17 027	5.5
商 業	11 085	3.6
水 産	70	0.0
家 庭	1 509	0.5
看 護	148	0.0
情 報	231	0.1
福 祉	35	0.0
そ の 他	4 668	1.5
総 合 学 科	4 932	1.6

図 5 高校生総数に占める私立高校生の割合



○教員1人当たりの生徒数は、前年度より0.1人減少し16.5人となった。

表 18 1 教員（本務者）当たりの生徒数

(単位：人)

区 分	平成8年度	13	14	15	16	17	18
本 科 生 徒 数	398 466	349 813	338 051	329 659	325 178	318 279	311 592
教員数（本務者）	21 434	20 006	19 708	19 445	19 291	19 164	18 889
教員1人当たり 本 科 生 徒 数	18.6	17.5	17.2	17.0	16.9	16.6	16.5

○入学者は、104,559人で前年度より764人減少した。また、入学者のうち他県所在の中学校卒業者は13,081人で前年度より21人増加し、入学者に占める割合は12.5%で0.1ポイント上昇した。

表 19 入学志願者及び入学者等の推移

(単位：人、%)

年 度	入 学 志 願 者 数	入 学 者 数	対 前 年 度 増 減 率	入学者のうち他県所在の 中学校卒業者及び中等教 育学校前期課程修了者	構 成 比
平成8年度	278 771	128 908	△ 6.4	18 945	14.7
13	238 482	116 053	△ 10.0	14 566	12.6
14	228 779	112 344	△ 3.2	14 447	12.9
15	232 285	111 279	△ 0.9	14 158	12.7
16	228 558	110 238	△ 0.9	13 665	12.4
17	218 153	105 323	△ 4.5	13 060	12.4
18	213 815	104 559	△ 0.7	13 081	12.5

注) 入学志願者数は、併願者を含めた延数である。

(3) 教員数（本務者） [表 20]

- 教員数は、18,889 人で前年度より 275 人減少した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 2,545 人減少した。
- 男女別にみると、男が 13,314 人で前年度より 237 人減少し、女が 5,575 人で 38 人減少した。平成 8 年度と比較すると男が 2,380 人、女が 165 人それぞれ減少した。
- 教員数に占める女性教員の割合は 29.5%で、前年度より 0.2 ポイント上昇した。平成 8 年度と比較すると 2.7 ポイント上昇した。
- 設置者別では、公立が 9,680 人で前年度より 167 人、私立が 8,973 人で 109 人それぞれ減少し、国立が 236 人で 1 人増加した。

表 20 男女・設置者別教員数（本務者）

（単位：人、％）

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	21 434	20 006	19 708	19 445	19 291	19 164	18 889
（ 男 女 別 ）							
男	15 694	14 370	14 073	13 840	13 680	13 551	13 314
女	5 740	5 636	5 635	5 605	5 611	5 613	5 575
（ 設 置 者 別 ）							
国 立	258	238	237	235	235	235	236
公 立	11 469	10 595	10 374	10 191	10 035	9 847	9 680
私 立	9 707	9 173	9 097	9 019	9 021	9 082	8 973
女性教員の割合	26.8	28.2	28.6	28.8	29.1	29.3	29.5

〔通信制課程〕 [表 21、統計表 4-11、統計表 4-12]

- 学校数は、12 校（独立校 3 校、併置校 9 校）で前年度より 1 校減少した。
- 生徒数は、22,219 人（男 10,775 人、女 11,444 人）で前年度より 2,249 人減少した。
- 設置者別にみると、公立が 1,460 人で前年度より 16 人増加し、私立は 20,759 人で 2,265 人減少した。
- 年齢別では、「15 歳～17 歳」が 11,535 人で全体の 51.9%を占める。また、「18 歳～19 歳」が 3,921 人、「20 代」が 2,845 人、「30 代」が 1,499 人、「40 代」が 1,190 人、「50 代」が 908 人、「60 歳以上」が 321 人である。
- 教員数は、341 人で前年度より 7 人増加した。

表 21 高等学校（通信制課程）数、生徒数及び教員数（本務者）の推移

（単位：校、人）

年 度	学 校 数	公 立	私 立	生 徒 数	公 立	私 立	教 員 数	公 立	私 立
平 成 8 年 度	8	2	6	28 873	1 753	27 120	268	33	235
13	10	2	8	25 516	1 629	23 887	317	34	283
14	10	2	8	24 689	1 612	23 077	317	34	283
15	10	2	8	22 699	1 546	21 153	328	34	294
16	10	2	8	21 308	1 476	19 832	321	34	287
17	13	4	9	24 468	1 444	23 024	334	42	292
18	12	3	9	22 219	1 460	20 759	341	42	299

注 1) 国立の学校はない。

2) 平成17年度から専攻科の生徒を含む。

5 盲学校・聾学校・養護学校

(1) 学校数 [表 22]

○学校数は、盲学校 5 校、聾学校 7 校、養護学校 55 校で、10 年前の平成 8 年度と比較すると養護学校が 1 校増加し、聾学校が 3 校減少し、盲学校が同数である。

表 22 盲・聾・養護学校数の推移

(単位：校)

年 度	盲 学 校	聾 学 校	養 護 学 校
平成 8 年度	5 (4)	10 (9)	54 (49)
13	5 (4)	10 (9)	55 (50)
14	5 (4)	9 (8)	55 (50)
15	5 (4)	9 (8)	55 (50)
16	5 (4)	9 (8)	54 (49)
17	5 (4)	9 (8)	54 (49)
18	5 (4)	7 (6)	55 (50)

注) () 内数値は、公立の学校数で内数である。

(2) 学級数 [表 23]

○学級数は、盲学校が 114 学級で前年度より 1 学級、聾学校が 155 学級で 4 学級それぞれ減少した。養護学校が 1,878 学級で 34 学級増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると盲学校が 7 学級、養護学校が 387 学級それぞれ増加し、聾学校が 15 学級減少した。

表 23 盲・聾・養護学校の学級数の推移

(単位：学級)

年 度	盲 学 校	幼 稚 部	小 学 部	中 学 部	高 等 部	聾 学 校	幼 稚 部	小 学 部	中 学 部	高 等 部	養 護 学 校	幼 稚 部	小 学 部	中 学 部	高 等 部
平成 8 年度	107	10	33	18	46	170	31	67	32	40	1 491	6	612	380	493
13	114	11	32	20	51	169	29	60	36	44	1 676	5	676	438	557
14	113	11	34	18	50	164	33	55	35	41	1 718	6	709	444	559
15	112	12	35	17	48	157	32	59	28	38	1 762	5	738	438	581
16	112	10	36	18	48	161	29	66	30	36	1 801	4	747	440	610
17	115	10	34	21	50	159	31	66	28	34	1 844	4	757	455	628
18	114	11	31	23	49	155	30	69	28	28	1 878	4	779	464	631

(3) 在学者数 [表 24、表 25]

○在学者数は、盲学校が 446 人で前年度より 14 人、聾学校が 654 人で 9 人それぞれ減少し、養護学校が 8,237 人で 227 人増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると養護学校が 2,043 人増加し、盲学校が 8 人、聾学校が 76 人それぞれ減少した。

○教員 1 人当たりの在学者数は、盲学校が 1.6 人、聾学校が 2.0 人、養護学校 1.9 人となった。平成 8 年度と比較してもほとんど変動していない。

表 24 盲・聾・養護学校の在学者数の推移

(単位：人、%)

年 度	盲 学 校	対前年度 増 減 率	教員 1 人 当たり 在学者数	聾 学 校	対前年度 増 減 率	教員 1 人 当たり 在学者数	養 護 学 校	対前年度 増 減 率	教員 1 人 当たり 在学者数
平成 8 年度	454	△ 3.6	1.7	730	△ 1.2	1.8	6 194	△ 0.6	1.8
13	448	△ 1.3	1.7	699	△ 4.2	1.7	6 955	12.3	1.8
14	450	0.4	1.6	680	△ 2.7	1.7	7 185	3.3	1.8
15	450	—	1.7	664	△ 2.4	1.7	7 439	3.5	1.8
16	447	△ 0.7	1.7	656	△ 1.2	1.7	7 745	4.1	1.8
17	460	2.9	1.7	663	1.1	1.7	8 010	3.4	1.9
18	446	△ 3.0	1.6	654	△ 1.4	2.0	8 237	2.8	1.9

○養護学校の障害種別在学者数の構成比をみると、「知的障害」が4,960人と最も多く、次いで「重複障害」が1,867人、「肢体不自由」が1,222人の順となった。「重複障害」の中では、「知的障害と肢体不自由」が最も多く1,173人となった。

表 25 養護学校障害種別在学者数の推移

(単位：人)

年 度	総 数	知的障害	肢体不自由	病 弱 ・ 身体虚弱	重複障害	知的障害と 肢体不自由	肢体不自由 と病弱・身 体 虚 弱	知的障害と 病弱・身体 虚 弱	そ の 他
平成 8 年度	6 194	3 043	1 089	229	1 833	1 009	197	592	35
13	6 955	3 714	1 160	192	1 889	897	153	524	315
14	7 185	3 966	1 161	175	1 883	988	102	449	344
15	7 439	4 262	1 177	148	1 852	942	136	418	356
16	7 745	4 510	1 164	209	1 862	1 162	107	257	336
17	8 010	4 790	1 191	190	1 839	1 130	200	232	277
18	8 237	4 960	1 222	188	1 867	1 173	150	208	336

(4) 教員数(本務者) [表 26、表 27]

○教員数は、盲学校が279人で前年度より6人、養護学校が4,413人で117人それぞれ増加し、聾学校が333人で47人減少した。10年前の平成8年度と比較すると盲学校で14人、養護学校で984人それぞれ増加し、聾学校が63人減少した。

表 26 盲・聾・養護学校の教員数(本務者)の推移

(単位：人、%)

年 度	盲 学 校	対前年度 増 減 率	聾 学 校	対前年度 増 減 率	養 護 学 校	対前年度 増 減 率
平成 8 年度	265	1.5	396	△ 0.8	3 429	0.8
13	271	1.5	404	0.5	3 905	3.3
14	277	2.2	397	△ 1.7	3 999	2.4
15	268	△ 3.2	389	△ 2.0	4 133	3.4
16	264	△ 1.5	391	0.5	4 200	1.6
17	273	3.4	380	△ 2.8	4 296	2.3
18	279	2.2	333	△ 12.4	4 413	2.7

○教員数に占める女性教員の割合は、盲学校が50.2%、聾学校が60.1%、養護学校が58.2%となった。

表 27 男女別教員数(本務者)の推移

(単位：人、%)

年 度	盲学校	男	女	構成比	聾学校	男	女	構成比	養 護 学 校	男	女	構成比
平成 8 年度	265	145	120	45.3	396	190	206	52.0	3 429	1 529	1 900	55.4
13	271	130	141	52.0	404	179	225	55.7	3 905	1 686	2 219	56.8
14	277	132	145	52.3	397	165	232	58.4	3 999	1 742	2 257	56.4
15	268	125	143	53.4	389	157	232	59.6	4 133	1 792	2 341	56.6
16	264	121	143	54.2	391	154	237	60.6	4 200	1 800	2 400	57.1
17	273	126	147	53.8	380	155	225	59.2	4 296	1 830	2 466	57.4
18	279	139	140	50.2	333	133	200	60.1	4 413	1 845	2 568	58.2

6 幼稚園

(1) 幼稚園数 [表 28、付表 I -5]

- 幼稚園数は、1,095 園で前年度より 5 園減少した。幼稚園の減少は昭和 57 年度以降続いている。10 年前の平成 8 年度と比較してみると 134 園減少した。
- 地域別にみると、区部が 786 園で前年度より 3 園、市部が 305 園で 2 園それぞれ減少し、郡部が 4 園で同数である。
- 設置者別では、公立が 223 園で前年度より 1 園、私立が 870 園で 4 園それぞれ減少し、国立の 2 園は前年度と同数である。私立が全体の 79.5%を占めている。
- 休園等は、43 園（公立 11 園、私立 32 園）となった。

表 28 地域・設置者別幼稚園数

(単位：園、%)

区 分	平成 8 年度	構 成 比	13	14	15	16	17	18	構 成 比
総 数	1 229	100.0	1 150	1 128	1 117	1 108	1 100	1 095	100.0
(地 域 別)									
区 部	889	72.3	823	806	797	792	789	786	71.8
市 部	336	27.3	323	318	316	312	307	305	27.9
郡 部	4	0.3	4	4	4	4	4	4	0.4
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	2	0.2	2	2	2	2	2	2	0.2
公 立	278	22.6	244	234	229	228	224	223	20.4
	(10)		(13)	(11)	(9)	(8)	(10)	(11)	
私 立	949	77.2	904	892	886	878	874	870	79.5
	(42)		(37)	(30)	(31)	(27)	(28)	(32)	

注) () 内数値は、休園等の幼稚園数で内数である。

(2) 学級数 [表 29]

- 学級数は、6,903 学級で前年度より 31 学級増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 203 学級増加した。
- 設置者別にみると、国立が 13 学級、公立が 657 学級、私立が 6,233 学級となり、私立が全体の 90.3%を占めている。

表 29 設置者別学級数

(単位：学級)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	6 700	6 839	6 879	6 869	6 896	6 872	6 903
国 立	13	12	13	12	12	13	13
公 立	722	671	667	668	669	663	657
私 立	5 965	6 156	6 199	6 189	6 215	6 196	6 233

(3) 園児数 [表 30、表 31、表 32、表 33、図 6]

- 園児数は、178,850 人で前年度より 542 人減少した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 14,665 人増加した。
- 地域別にみると、区部が 113,530 人で前年度より 357 人、市部が 64,743 人で 180 人、郡部が 577 人で 5 人それぞれ減少した。

表 30 男女・地域・設置者別園児数

(単位：人、%)

区 分	平成 8 年度	構 成 比	13	14	15	16	17	18	構 成 比
総 数	164 185	100.0	171 000	175 600	176 905	179 026	179 392	178 850	100.0
(男 女 別)									
男	83 104	50.6	86 708	89 275	89 843	90 938	91 101	90 563	50.6
女	81 081	49.4	84 292	86 325	87 062	88 088	88 291	88 287	49.4
(地 域 別)									
区 部	105 462	64.2	108 623	111 459	112 390	113 622	113 887	113 530	63.5
市 部	58 161	35.4	61 815	63 588	63 978	64 870	64 923	64 743	36.2
郡 部	562	0.3	562	553	537	534	582	577	0.3
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	378	0.2	379	384	388	392	392	387	0.2
公 立	14 234	8.7	15 166	15 374	15 422	15 630	15 726	15 353	8.6
私 立	149 573	91.1	155 455	159 842	161 095	163 004	163 274	163 110	91.2

○設置者別では、国立が 387 人で前年度より 5 人、公立が 15,353 人で 373 人、私立が 163,110 人で 164 人それぞれ減少した。私立が全園児数の 91.2%を占める。

○年齢別では、3 歳児が 51,329 人で前年度より 459 人、5 歳児が 64,510 人で 272 人それぞれ増加し、4 歳児が 63,011 人で 1,273 人減少した。

表 31 年 齢 別 園 児 数 及 び 構 成 比

(単位：人、%)

区 分	平 成 8 年 度	13	14	15	16	17	18
実 数							
総 数	164 185	171 000	175 600	176 905	179 026	179 392	178 850
3 歳 児	40 406	46 569	48 960	49 338	50 604	50 870	51 329
4 歳 児	62 115	63 107	63 093	64 177	63 921	64 284	63 011
5 歳 児	61 664	61 324	63 547	63 390	64 501	64 238	64 510
構 成 比							
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3 歳 児	24.6	27.2	27.9	27.9	28.3	28.4	28.7
4 歳 児	37.8	36.9	35.9	36.3	35.7	35.8	35.2
5 歳 児	37.6	35.9	36.2	35.8	36.0	35.8	36.1

○1 学級当たりの園児数は、25.9 人で前年度より 0.2 人、教員 1 人当たりの園児数は、16.7 人で 0.2 人それぞれ減少した。

表 32 1 学 級 ・ 1 教 員 (本 務 者) 当 た り の 園 児 数

(単位：人)

区 分	平 成 8 年 度	13	14	15	16	17	18
学 級 数	6 700	6 839	6 879	6 869	6 896	6 872	6 903
園 児 数	164 185	171 000	175 600	176 905	179 026	179 392	178 850
教員数（本務者）	10 073	10 397	10 430	10 496	10 612	10 640	10 687
1 学 級 当 た り 園 児 数	24.5	25.0	25.5	25.8	26.0	26.1	25.9
教 員 1 人 当 た り 園 児 数	16.3	16.4	16.8	16.9	16.9	16.9	16.7

○新規入園児数は、66,239 人で前年度より 1,112 人減少した。

○3 歳からの入園者数の割合を 10 年前の平成 8 年度と比較すると 15.4 ポイント上昇し、76.3%となった。

表 33 当 該 年 度 年 齢 別 新 規 入 園 児 数 及 び 構 成 比

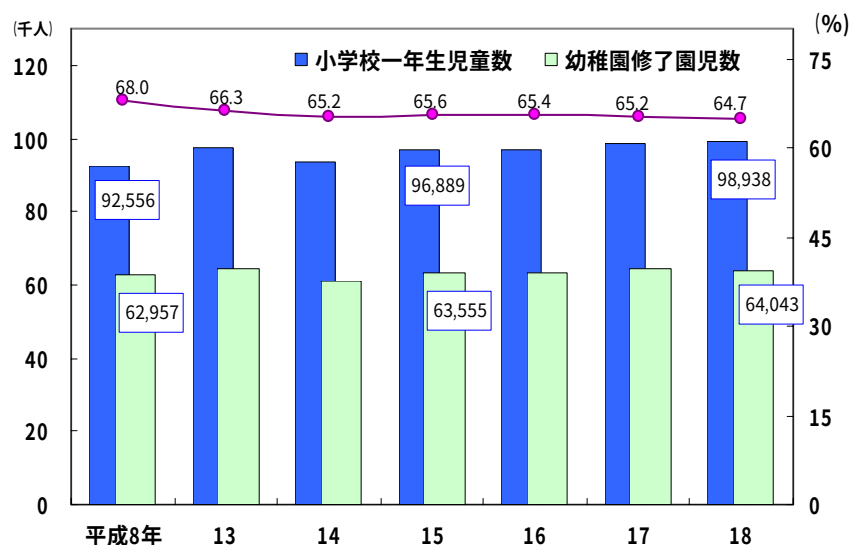
(単位：人、%)

区 分	平 成 8 年 度	13	14	15	16	17	18
実 数							
新規入園児総数	66 300	67 575	68 342	67 529	67 933	67 351	66 239
3 歳から入園	40 406	46 204	48 208	48 814	49 896	50 207	50 550
4 歳から入園	23 981	19 503	18 263	17 047	16 301	15 461	14 001
5 歳から入園	1 913	1 868	1 871	1 668	1 736	1 683	1 688
構 成 比							
新規入園児総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3 歳から入園	60.9	68.4	70.5	72.3	73.4	74.5	76.3
4 歳から入園	36.2	28.9	26.7	25.2	24.0	23.0	21.1
5 歳から入園	2.9	2.8	2.7	2.5	2.6	2.5	2.5

注) 新規入園児とは、当該年度 4 月 1 日から 5 月 1 日に入園した者である。

- 小学校第一学年児童数に対する幼稚園修了園児数の割合は、64.7%で前年度より 0.5 ポイント低下した。

図 6 小学校第一学年児童数に対する幼稚園修了者数の比



(参考) 年齢別幼児人口

(単位：人)

年齢	平成16年 1月1日	平成17年 1月1日	平成18年 1月1日
5 歳	98 118	97 864	100 353
4 歳	97 521	100 198	98 644
3 歳	99 882	98 433	99 265
2 歳	98 062	99 377	98 053
1 歳	99 473	98 191	98 968
0 歳	94 619	95 996	93 262

資料：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
(総務局統計部人口統計課)

注1) 比率 = $\frac{\text{幼稚園修了園児数}}{\text{小学校一年生児童数}} \times 100$

2) 小学校一年生児童数は、各年5月1日在籍者、幼稚園修了者数は各年3月修了者

(4) 教員数及び教育補助員数(本務者) [表 34]

- 教員数は、10,687 人で前年度より 47 人増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 614 人増加した。
- 男女別にみると、男が 669 人で前年度より 5 人、女が 10,018 人で 42 人それぞれ増加した。
- 女性教員の総数に占める割合は、93.7%となった。
- 設置者別では、公立が 908 人で前年度より 19 人減少、私立が 9,762 人で 66 人増加、国立が 17 人で同数である。
- 教育補助員(教育活動の補助にあっている者)は、420 人で前年度より 24 人増加した。

表 34 男女・設置者別教員数(本務者)及び教育補助員数(本務者)

(単位：人、%)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	10 073	10 397	10 430	10 496	10 612	10 640	10 687
(男 女 別)							
男	598	632	633	641	664	664	669
女	9 475	9 765	9 797	9 855	9 948	9 976	10 018
(設 置 者 別)							
国 立	16	16	16	17	17	17	17
公 立	1 168	1 006	980	967	948	927	908
私 立	8 889	9 375	9 434	9 512	9 647	9 696	9 762
女性教員の割合	94.1	93.9	93.9	93.9	93.7	93.8	93.7
教 育 補 助 員	398	407	462	470	455	396	420

7 専修学校

(1) 学校数 [表 35]

- 学校数は、461 校で前年度より 2 校増加した。
- 地域別にみると、区部が 390 校で前年度より 1 校、市部が 71 校で 1 校それぞれ増加した。
- 設置者別では、私立が 449 校で前年度より 2 校増加し、国立が 3 校、公立が 9 校で同数である。
- 休校等は、私立が 18 校で前年度と同数である。

表 35 地域・設置者別学校数の推移

(単位：校)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	462	460	465	463	466	459	461
(地 域 別)							
区 部	389	390	396	395	394	389	390
市 部	73	70	69	68	72	70	71
郡 部	—	—	—	—	—	—	—
島 部	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)							
国 立	13	9	8	7	4	3	3
公 立	14	13	13	12	10	9	9
私 立	435	438	444	444	452	447	449
	(13)	(21)	(25)	(20)	(26)	(18)	(18)

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数 [表 36、表 37、表 38、図 7、図 8、統計表 7-6]

- 生徒数は、174,699 人で前年度より 12,463 人減少した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 47,345 人減少した。
- 男女別にみると、男が 85,079 人で前年度より 6,469 人、女が 89,620 人で 5,994 人それぞれ減少した。
- 地域別では、区部が 149,876 人で前年度より 11,075 人、市部が 24,823 人で 1,388 人それぞれ減少した。
- 設置者別では、国立が 241 人で前年度より 2 人増加し、公立が 2,032 人で 112 人、私立が 172,426 人で 12,353 人それぞれ減少した。

表 36 男女・地域・設置者別生徒数の推移

(単位：人)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	222 044	195 409	196 126	194 544	193 273	187 162	174 699
(男 女 別)							
男	119 267	97 717	96 671	94 877	94 750	91 548	85 079
女	102 777	97 692	99 455	99 667	98 523	95 614	89 620
(地 域 別)							
区 部	193 274	169 150	169 253	167 520	166 390	160 951	149 876
市 部	28 770	26 259	26 873	27 024	26 883	26 211	24 823
郡 部	—	—	—	—	—	—	—
島 部	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)							
国 立	1 683	1 086	1 038	985	271	239	241
公 立	3 951	3 765	3 309	2 784	2 304	2 144	2 032
私 立	216 410	190 558	191 779	190 775	190 698	184 779	172 426

○課程別では、高等課程が4,216人で前年度より371人、専門課程が160,352人で11,630人、一般課程が10,131人で462人それぞれ減少した。構成比を前年度と比較してみると、一般課程が5.8%で0.1ポイント上昇し、高等課程が2.4%で0.1ポイント、専門課程が91.8%で0.1ポイントそれぞれ低下した。

表 37 課程別生徒数の推移及び構成比

(単位：人、%)

区 分	平成8年度	13	14	15	16	17	18
実数							
総数	222 044	195 409	196 126	194 544	193 273	187 162	174 699
高等課程	8 579	6 667	6 304	5 672	4 904	4 587	4 216
専門課程	192 103	174 065	175 173	176 463	176 308	171 982	160 352
一般課程	21 362	14 677	14 649	12 409	12 061	10 593	10 131
構成比							
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高等課程	3.9	3.4	3.2	2.9	2.5	2.5	2.4
専門課程	86.5	89.1	89.3	90.7	91.2	91.9	91.8
一般課程	9.6	7.5	7.5	6.4	6.2	5.7	5.8

○分野別では、「文化・教養関係」が57,278人で全体の32.8%と最も多く、次いで「医療関係」31,697人、「衛生関係」24,016人の順となった。生徒数を前年度と比較すると、「全分野」で減少した。

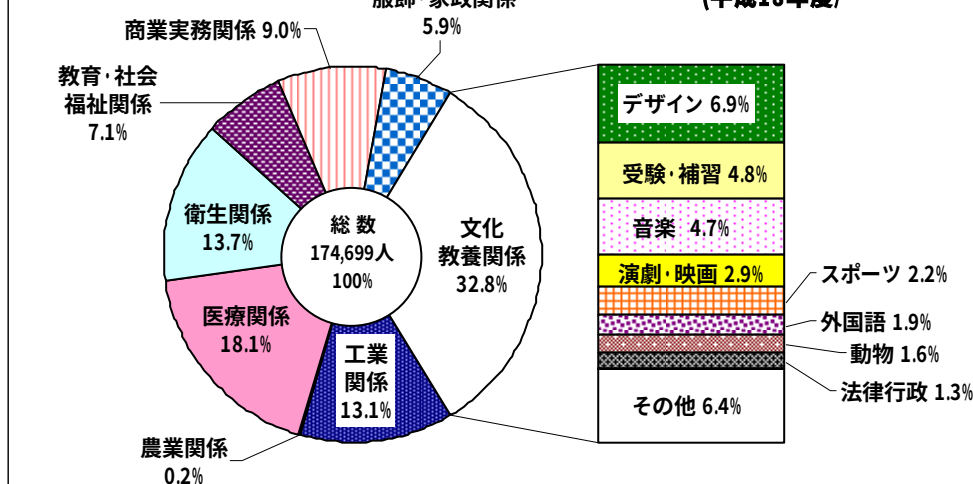
表 38 分野別生徒数の推移

(単位：人、%)

区 分	平成8年度	構成比	13	14	15	16	17	18	構成比
総数	222 044	100.0	195 409	196 126	194 544	193 273	187 162	174 699	100.0
工業関係	45 841	20.6	35 774	33 951	32 010	28 737	25 947	22 867	13.1
農業関係	547	0.2	1 303	1 386	472	481	454	407	0.2
医療関係	27 758	12.5	29 216	30 744	31 291	32 129	32 738	31 697	18.1
衛生関係	21 302	9.6	24 647	24 579	24 887	25 388	25 124	24 016	13.7
教育・社会福祉関係	12 079	5.4	11 728	11 862	12 586	13 718	13 359	12 341	7.1
商業実務関係	35 239	15.9	17 803	17 517	17 843	17 533	17 282	15 775	9.0
服飾・家政関係	11 403	5.1	13 765	13 350	12 842	11 927	11 133	10 318	5.9
文化・教養関係	67 875	30.6	61 173	62 737	62 613	63 360	61 125	57 278	32.8

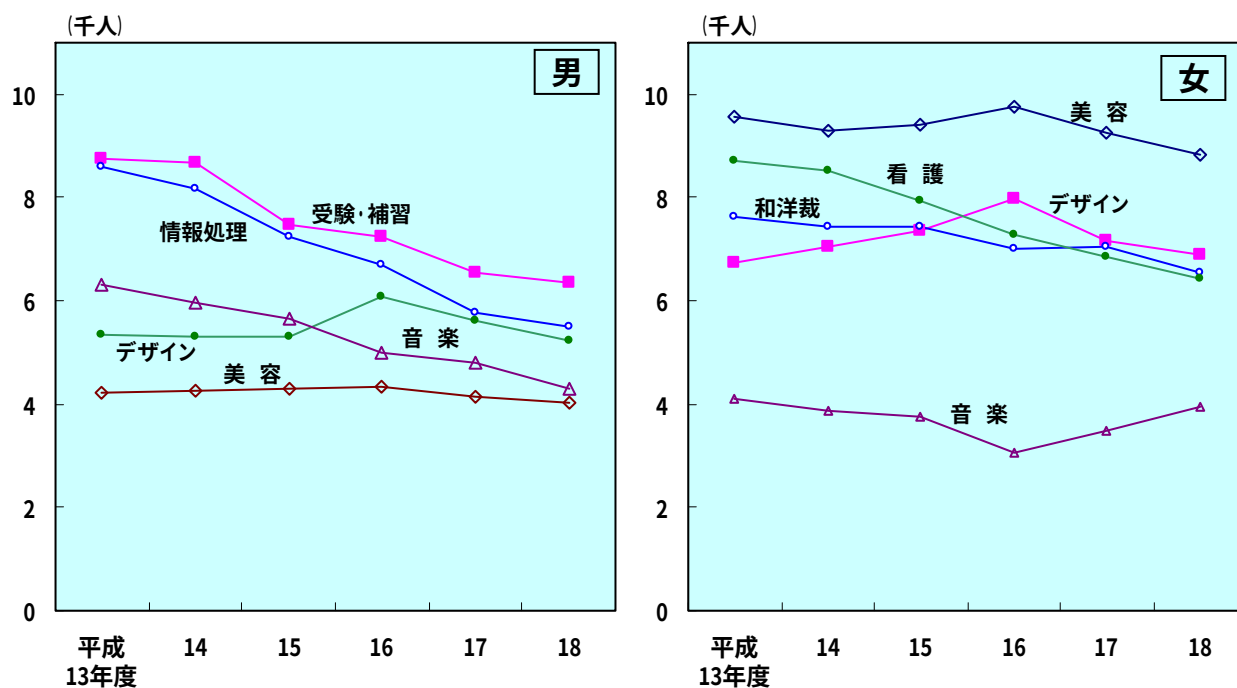
図7 分野別生徒数の構成比

(平成18年度)



○今年度の生徒数の多い学科〔上位5位〕を男女別にみると、男では「受験・補習」の6,357人が多く、次いで「情報処理」、「デザイン」、「音楽」、「美容」の順になった。女では「美容」の8,850人が最も多く、次いで「デザイン」、「和洋裁」、「看護」が6千人台で集中し、5位は「音楽」となった。

図 8 男女別生徒数の多い学科〔上位5位〕の推移



(3) 教員数 [表 39]

○教員数は、26,632人で前年度より18人減少した。10年前の平成8年度と比較すると517人減少した。
○本務者・兼務者別でみると、本務者が8,255人で前年度より12人、兼務者が18,377人で6人それぞれ減少した。教員数に占める兼務者の割合は、69.0%で本務者の約2.2倍となった。

表 39 教 員 数 (本 務 者 ・ 兼 務 者)

(単位：人、%)

区 分	平成8年度	構成比	13	14	15	16	17	18	構成比
教 員 数	27 149	100.0	26 592	26 604	26 474	26 746	26 650	26 632	100.0
本 務 者	8 339	30.7	8 038	8 226	8 173	8 231	8 267	8 255	31.0
兼 務 者	18 810	69.3	18 554	18 378	18 301	18 515	18 383	18 377	69.0

8 各種学校

(1) 学校数 [表 40]

- 学校数は、専修学校制度発足（昭和 51 年度）以来減少を続けており、今年度も 176 校で前年度より 3 校減少した。
- 地域別にみると、区部が 154 校で前年度より 1 校、市部が 21 校で 2 校それぞれ減少し、郡部が 1 校で前年度と同数である。
- 設置者別では、国公立はなく私立校のみである。

表 40 地域・設置者別学校数の推移

(単位：校)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	221	196	192	187	182	179	176
(地 域 別)							
区 部	190	169	166	162	157	155	154
市 部	30	26	25	24	24	23	21
郡 部	1	1	1	1	1	1	1
島 部	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)							
国 立	1	1	—	—	—	—	—
公 立	—	—	—	—	—	—	—
私 立	220 (47)	195 (50)	192 (54)	187 (50)	182 (54)	179 (51)	176 (52)

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数 [表 41、図 9、統計表 8-3]

- 生徒数は、29,798 人で前年度より 102 人減少した。10 年前の平成 8 年度と比較すると 17,001 人減少した。
- 男女別にみると、男が 13,405 人で前年度より 216 人減少し、女が 16,393 人で 114 人増加した。
- 地域別では、区部が 26,135 人で前年度より 106 人増加し、市部が 3,663 人で 208 人減少した。

表 41 男女・地域・設置者別生徒数の推移

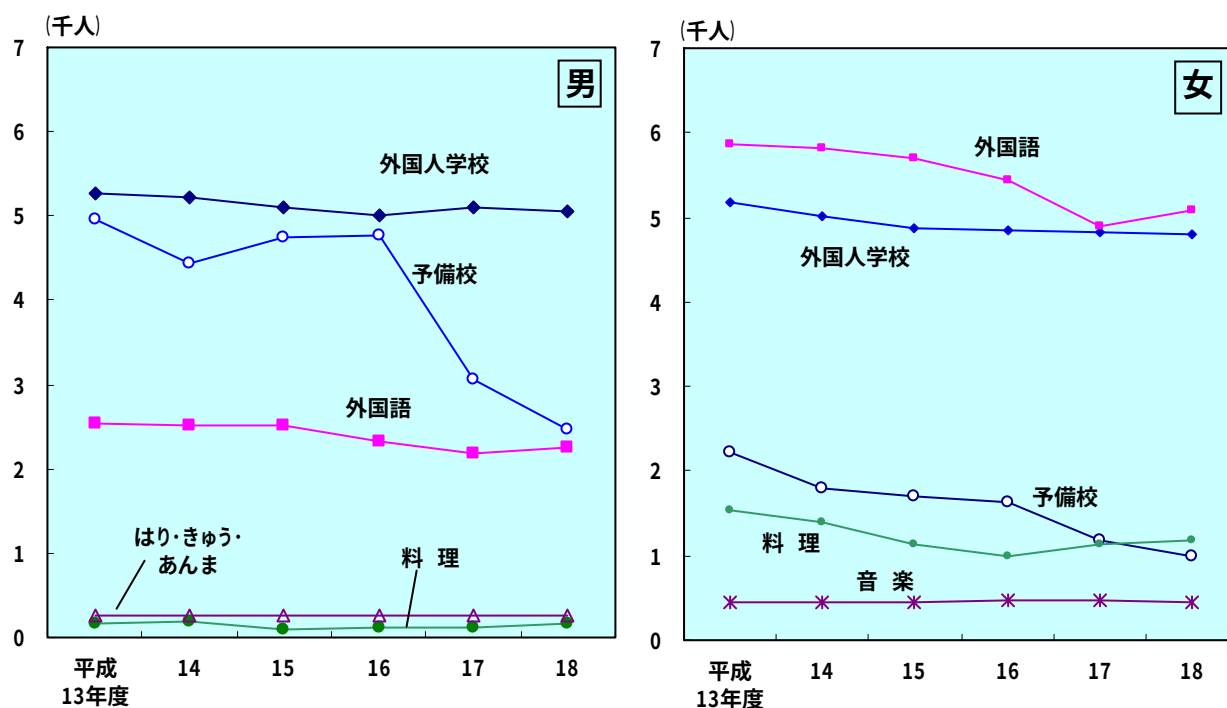
(単位：人)

区 分	平成 8 年度	13	14	15	16	17	18
総 数	46 799	36 316	34 074	33 840	33 035	29 900	29 798
(男 女 別)							
男	21 289	16 455	15 632	15 875	15 513	13 621	13 405
女	25 510	19 861	18 442	17 965	17 522	16 279	16 393
(地 域 別)							
区 部	40 798	31 952	29 881	29 798	29 103	26 029	26 135
市 部	6 001	4 364	4 193	4 042	3 932	3 871	3 663
郡 部	—	—	—	—	—	—	—
島 部	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)							
国 立	18	10	—	—	—	—	—
公 立	—	—	—	—	—	—	—
私 立	46 781	36 306	34 074	33 840	33 035	29 900	29 798

○生徒数の多い課程を男女別にみると、男は、「外国人学校」の5,052人が最も多く、次いで「予備校」、
「外国語」の順となった。

○女は、「外国語」の5,073人が最も多く、次いで「外国人学校」となった。

図 9 男女別生徒数の多い課程〔上位5位〕の推移



(3) 教員数 [表 42]

○教員数は、3,441人で前年度より60人減少した。

○本務者・兼務者別でみると、本務者が1,468人で60人減少し、兼務者が1,973人で同数である。
教員数に占める兼務者の割合は、57.3%で本務者の約1.3倍となった。

表 42 教員数（本務者・兼務者）

(単位：人、%)

区 分	平成8年度	構成比	13	14	15	16	17	18	構成比
教 員 数	4 133	100.0	3 696	3 585	3 683	3 565	3 501	3 441	100.0
本 務 者	1 672	40.5	1 613	1 555	1 548	1 486	1 528	1 468	42.7
兼 務 者	2 461	59.5	2 083	2 030	2 135	2 079	1 973	1 973	57.3

9 卒業後の状況調査

【中学校】

(1) 卒業者数 [表 43、統計表 9-1]

- 平成 18 年 3 月の中学校卒業者は、98,121 人で前年度より 677 人減少した。
- 男女別にみると、男が 49,206 人で前年度より 460 人、女が 48,915 人で 217 人それぞれ減少した。

(2) 進学状況 [表 43、統計表 9-1]

- 高等学校等への進学者数は、95,847 人(男 48,004 人、女 47,843 人) で前年度より 472 人減少した。
- 高等学校等への進学率は、97.7%で前年度より 0.2 ポイント上昇した。
- 高等学校等への進学者を課程別にみると、全日制が 90,962 人、定時制が 2,993 人、通信制が 760 人となった。
- 専修学校高等課程への進学者は、473 人で、進学率は、前年度と同じ 0.5%である。
- 専修学校一般課程等入学者のうち、専修学校一般課程入学者は、92 人で前年度より 13 人、各種学校は 164 人で 1 人それぞれ減少した。
- 公共職業能力開発施設等入学者は、51 人で前年度より 17 人減少した。

表 43 進路別卒業者数 (中学校)

(単位：人、%)

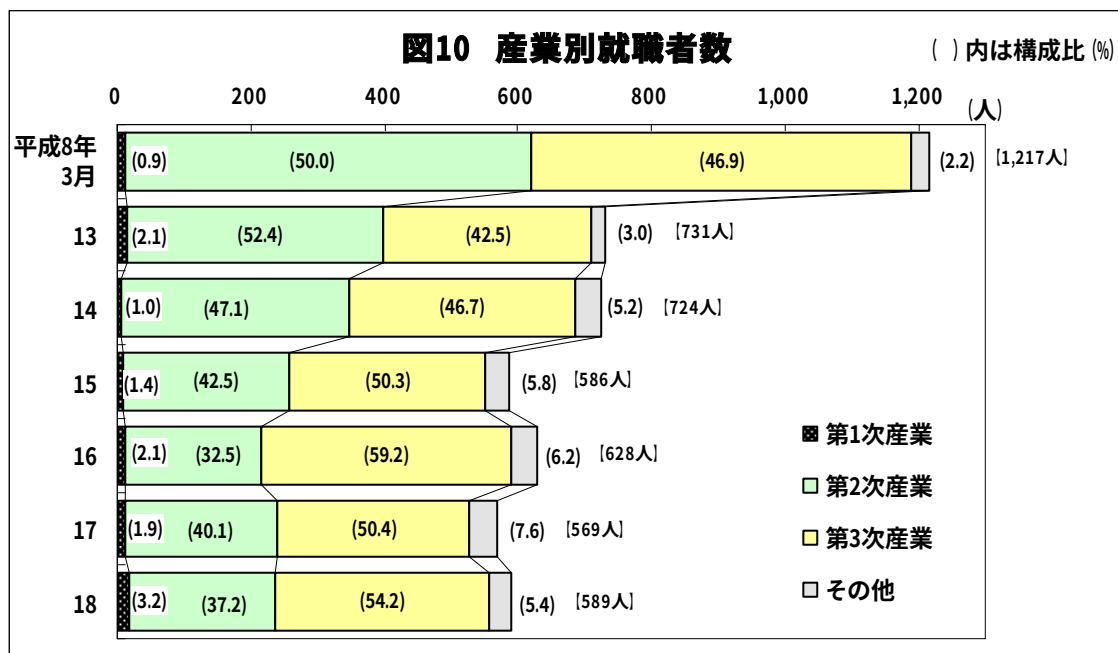
区 分	平成18年 3月	平成17年 3月
総 数	98 121	98 798
高 等 学 校 等 進 学 者 (A)	95 847	96 319
専修学校 (高等課程) 進 学 者 (B)	473	501
専修学校 (一般課程) 等 入 学 者 (C)	256	270
専修学校 (一般課程) 各 種 学 校	92	105
公 共 職 業 能 力 開 発 施 設 等 入 学 者 (D)	164	165
就 職 者	51	68
上 記 以 外 の 者	534	510
死 亡 ・ 不 詳	949	1 119
上記(A)～(D)のうち 就職している者 (再掲)	11	11
	55	59
高 等 学 校 等 進 学 率	97.7	97.5
就 職 率	0.6	0.6

注 1) 高等学校等進学者には、中等教育学校後期課程本科、盲・聾・養護学校高等部本科の進学者を含む。

2) 「上記以外の者」とは、家事手伝い、外国の高等学校に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者である。

(3) 就職状況 [表 43、図 10、統計表 9-3]

- 就職者総数は、589 人(就職者 534 人、進学しながら就職している者 55 人) で前年度より 20 人増加した。10 年前の平成 8 年度と比較すると、628 人減少した。
- 就職率は、前年度と同じ 0.6%である。
- 就職者を産業別にみると、第 3 次産業が 319 人で全体の 54.2%と最も多く、次いで第 2 次産業が 219 人となった。
- 就職先を地域別でみると、都内が 542 人、都外が 47 人で、都内への就職者が全体の 92.0%を占める。



【高等学校（全日制・定時制）】

（1）卒業生数 [表 44、統計表 10-1]

- 平成 18 年 3 月の高等学校卒業生は、102,641 人で前年度より 535 人減少した。
- 男女別にみると、男が 50,743 人で前年度より 76 人、女が 51,898 人で 459 人それぞれ減少した。

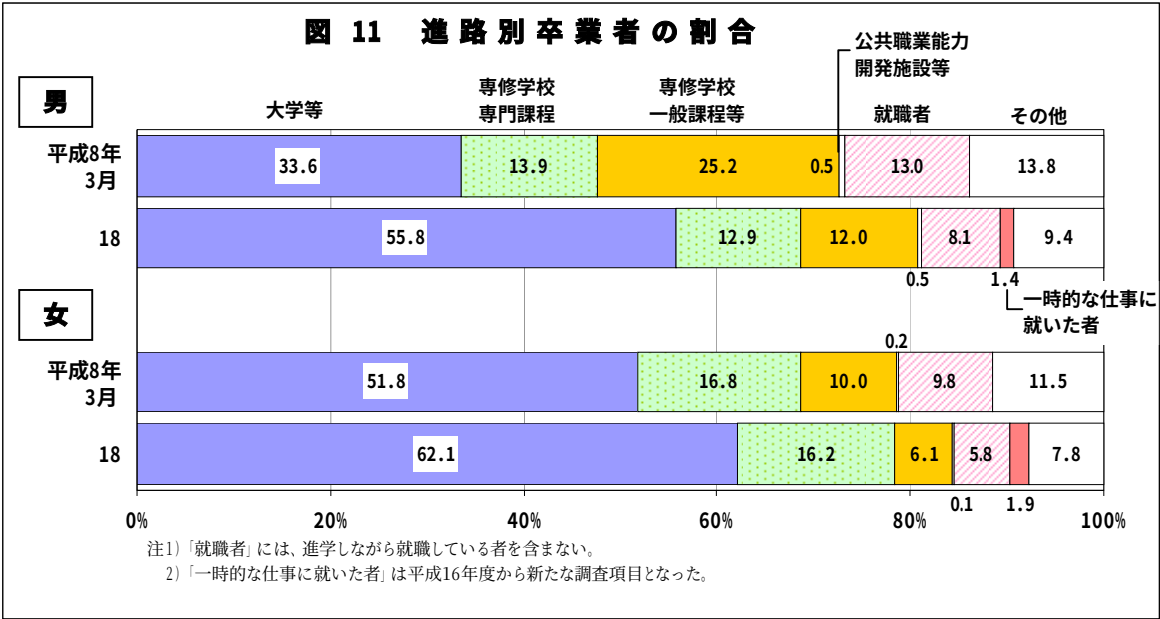
（2）進学状況 [表 44、図 11、統計表 10-1]

- 大学等への進学者は、60,568 人（男 28,332 人、女 32,236 人）で前年度より 2,621 人増加した。
- 大学等への進学率は、59.0%（男 55.8%、女 62.1%）で前年度より 2.8 ポイント上昇し、調査開始以来最高となった。10 年前の平成 8 年と比較すると男は 22.2 ポイント、女は 10.3 ポイントそれぞれ上昇した。
- 大学学部への進学率は、53.9%（男 55.0%、女 52.7%）で前年度より 3.3 ポイント上昇し、短期大学本科への進学率は、5.0%（男 0.7%、女 9.2%）で前年度より 0.5 ポイント低下した。
- 専修学校専門課程への進学者は、14,926 人（男 6,535 人、女 8,391 人）で前年度より 472 人減少した。
- 専修学校専門課程への進学率は、14.5%（男 12.9%、女 16.2%）で前年度より 0.4 ポイント低下した。
- 専修学校一般課程等入学者のうち、専修学校一般課程等は、5,302 人で前年度より 947 人減少し、各種学校は、3,922 人で 499 人増加した。
- 公共職業能力開発施設等入学者は、285 人で、男が 230 人、女は 55 人となった。

表 44 進路別卒業生数（高等学校）

(単位：人、%)		
区 分	平成 18 年 3 月	平成 17 年 3 月
総 数	102 641	103 176
大 学 等 進 学 者 (A)	60 568	57 947
うち 大 学 学 部	55 289	52 159
うち 短 期 大 学 本 科	5 170	5 642
専 修 学 校 (専 門 課 程) 進 学 者 (B)	14 926	15 398
専 修 学 校 (一 般 課 程) 等 入 学 者 (C)	9 224	9 672
専 修 学 校 (一 般 課 程) 等	5 302	6 249
各 種 学 校	3 922	3 423
公 共 職 業 能 力 開 発 施 設 等 入 学 者 (D)	285	257
就 職 者	7 122	7 194
一 時 的 な 仕 事 に 就 いた 者	1 728	1 975
上 記 以 外 の 者	8 772	10 724
死 亡 ・ 不 詳	16	9
上 記 (A) ～ (D) の うち 就 職 して いる 者 (再 掲)	27	34
大 学 等 進 学 率	59.0	56.2
専 修 学 校 (専 門 課 程) 進 学 率	14.5	14.9
就 職 率	7.0	7.0
一 時 的 な 仕 事 に 就 いた 者 の 割 合	1.7	1.9

- 注 1) 「大学等進学者」には、大学・短大の別科、高等学校専攻科、盲・聾・養護学校高等部専攻科への進学者を含む。
2) 「上記以外の者」とは、家事手伝い、外国の大学等に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者である。



(3) 就職状況 [表 44、図 12、図 13、統計表 10-1、統計表 10-5、統計表 10-6]

- 就職者総数は7,149人（就職者7,122人、進学しながら就職している者27人）で前年度より79人減少した。男女別では、男が4,117人、女が3,032人となった。
- 就職率は、7.0%で前年度と同数である。男女別では、男が8.1%、女が5.8%となった。
- 平成16年度から新たに調査項目に加わった「一時的な仕事に就いた者」は、1,728人で前年度より247人減少し、卒業者数に対する割合は1.7%（男1.4%、女1.9%）で前年度より0.2ポイント低下した。
- 職業別では、「生産工程・労務作業者」が2,095人で全体の29.3%と最も多く、次いで「販売従事者」1,483人、「事務従事者」1,265人の順となった。男女別にみると、男が「生産工程・労務作業者」の1,806人、女が「事務従事者」の1,005人が最も多かった。
- 産業別では、「製造業」が1,856人で全体の26.0%と最も多く、次いで「卸売・小売業」1,802人、「サービス業」640人の順となった。

